

# 沖縄子供の貧困緊急対策事業 効果測定アンケート結果報告

---

平成29年6月20日

内閣府沖縄振興局事業振興室

沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課

# 目次

調査概要	3
1 居場所用アンケート(子どもが回答)の結果	8
(1)食事について	
(2)学校・勉強・読書について	
(3)生活について	
(4)自分のことについて	
(5)居場所について	
2 支援員配布(子どもが回答)アンケートの結果	21
(1)食事について	
(2)学校・勉強・読書について	
(3)生活について	
(4)自分のことについて	
(5)支援員について	
3 支援員配布(保護者が回答)アンケートの結果	32
(1)お子さんとの関係について	
(2)子育てについて	
(3)子どもの地域での支援サービス利用について	
(4)地域や友人・知人・社会との関係について	
(5)支援員について	
4 自由記述欄	48

# 調査概要1：総括

## ●調査票種別

- 1 居場所配布
- 2 支援員配布(子供用)
- 3 支援員配布(保護者用)

## ●調査実施時期

平成28年12月

## ●調査票の回収、集計

内閣府において設問を設定。市町村が調査票を配布・回収し、県において集計。

## ●回収状況

居場所配布	1,110
支援員配布(子供用)	312
支援員配布(保護者用)	245
合計	1,667

# 調査概要2: 居場所でのアンケート

## (対象)

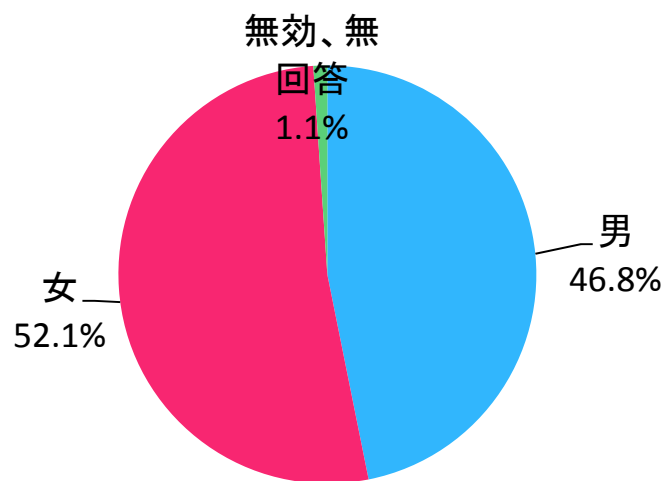
居場所の利用者(小学3年生から概ね18歳以下の者)

## (実施方法)

居場所のスタッフから利用者へ記入を依頼

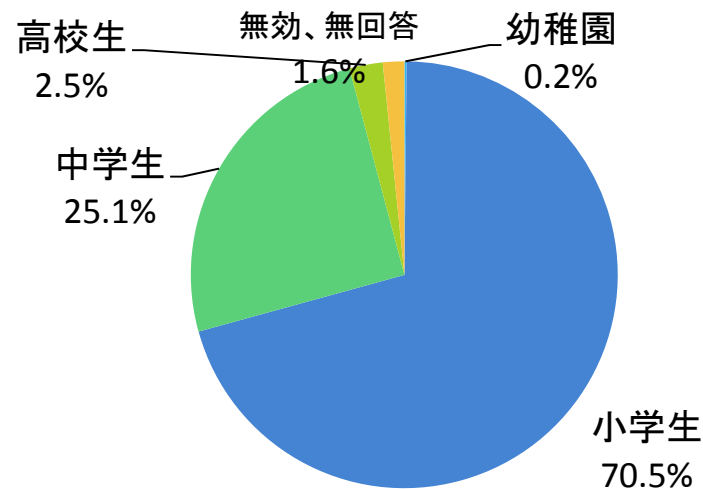
## (回答者)

性別



	回答数	割合
1.男	520	46.8%
2.女	578	52.1%
無効、無回答	12	1.1%
計	1,110	-

ライフステージ



	回答数	割合
幼稚園	2	0.2%
小学生	783	70.5%
中学生	279	25.1%
高校生	28	2.5%
無効、無回答	18	1.6%
計	1,110	-

# 調査概要4：支援員によるアンケート(子供用)

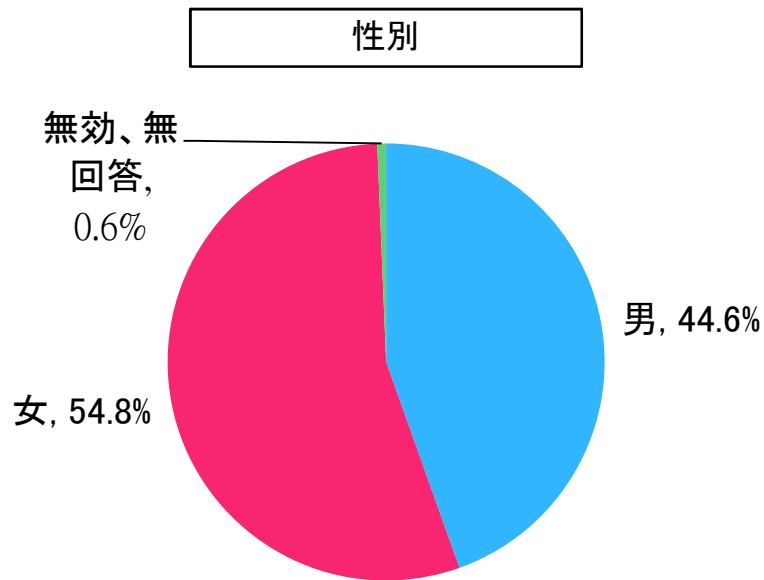
(対象)

支援対象世帯の子供

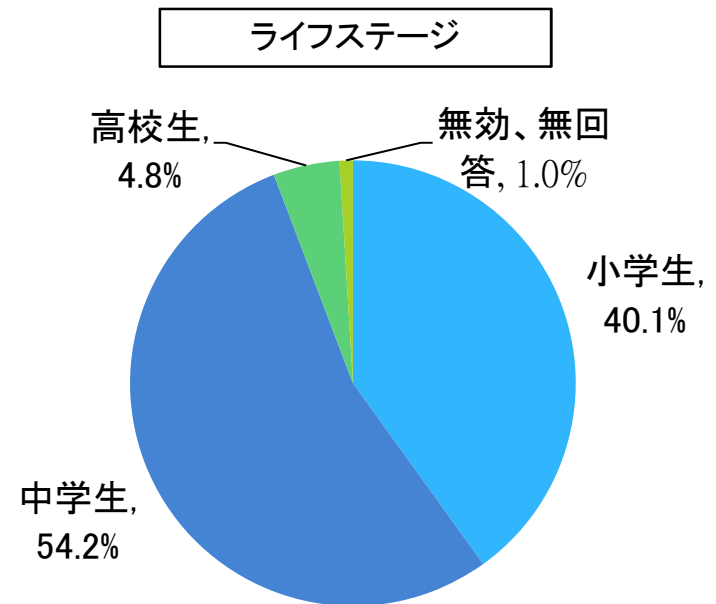
(実施方法)

支援員が支援対象世帯へ配布して、記入を依頼

(回答者)



	回答数	割合
1.男	139	44.6%
2.女	171	54.8%
無効、無回答	2	0.6%
計	312	-



	回答数	割合
小学生	125	40.1%
中学生	169	54.2%
高校生	15	4.8%
無効、無回答	3	1.0%
計	312	-

# 調査概要3：支援員によるアンケート（保護者用）

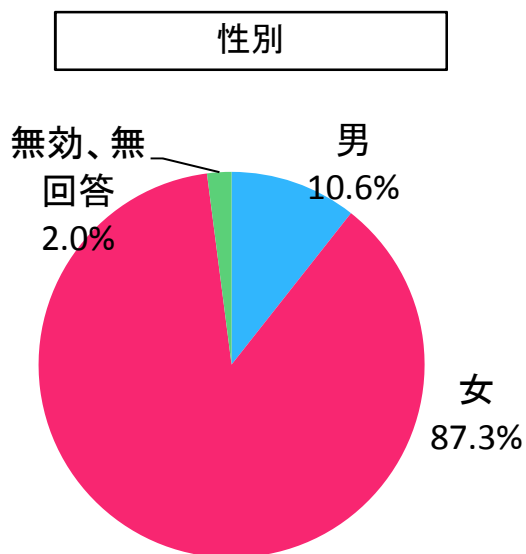
（対象）

支援対象世帯の子供の保護者

（実施方法）

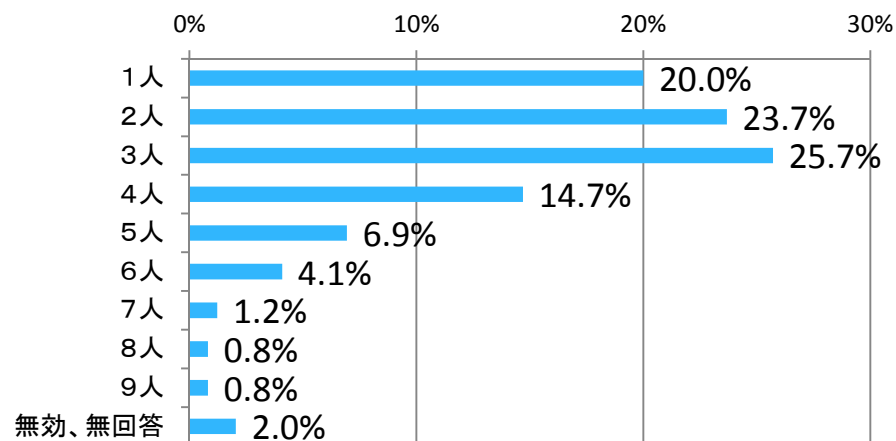
支援員が支援対象世帯へ配布して、記入を依頼

（回答者）

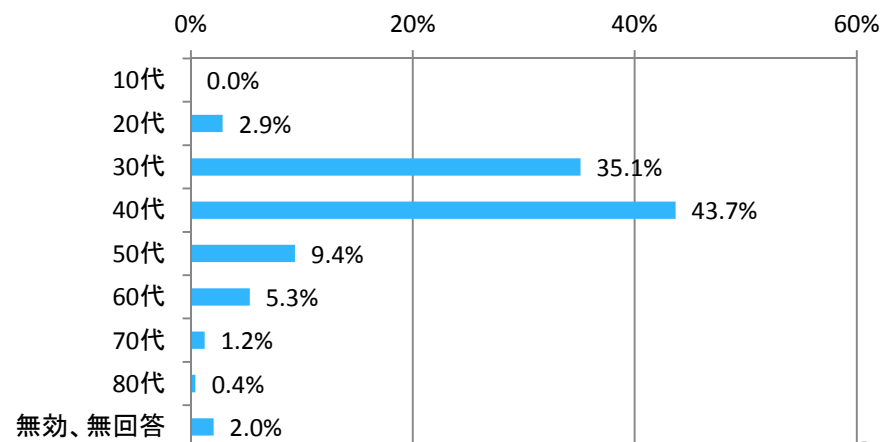


	回答数	割合
男	26	10.6%
女	214	87.3%
無効、無回答	5	2.0%
計	245	-

子供の人数



保護者の年代



# 調査概要5：市町村別票数

## 居場所用

	市町村	集計票数
01	那覇市	305
02	宜野湾市	11
03	石垣市	5
04	浦添市	163
05	名護市	35
06	糸満市	38
07	沖縄市	107
08	豊見城市	49
09	うるま市	189
10	宮古島市	38
11	南城市	6
12	国頭村	26
13	大宜味村	8
14	東村	3
18	宜野座村	15
19	金武町	5
21	読谷村	4
23	北谷町	10
24	北中城村	0
25	中城村	4
26	西原町	15
27	与那原町	14
28	南風原町	6
33	南大東村	0
35	伊平屋村	46
38	八重瀬町	8
	合計	1,110

## 支援員配布(子供用)

	市町村	集計票数
01	那覇市	53
02	宜野湾市	1
03	石垣市	5
04	浦添市	0
05	名護市	16
06	糸満市	8
07	沖縄市	45
08	豊見城市	51
09	うるま市	59
10	宮古島市	38
11	南城市	15
12	国頭村	0
13	大宜味村	0
14	東村	0
15	今帰仁村	1
16	本部町	0
17	恩納村	4
18	宜野座村	1
19	金武町	3
21	読谷村	4
22	嘉手納町	0
23	北谷町	0
24	北中城村	0
25	中城村	0
26	西原町	0
27	与那原町	3
28	南風原町	0
33	南大東村	0
35	伊平屋村	0
38	八重瀬町	5
	合計	312

## 支援員配布(保護者用)

	市町村	集計票数
01	那覇市	55
02	宜野湾市	1
03	石垣市	7
04	浦添市	0
05	名護市	8
06	糸満市	6
07	沖縄市	21
08	豊見城市	34
09	うるま市	33
10	宮古島市	16
11	南城市	13
12	国頭村	1
13	大宜味村	0
14	東村	1
15	今帰仁村	20
16	本部町	0
17	恩納村	4
18	宜野座村	4
19	金武町	3
21	読谷村	3
22	嘉手納町	0
23	北谷町	2
24	北中城村	0
25	中城村	0
26	西原町	0
27	与那原町	3
28	南風原町	6
33	南大東村	0
35	伊平屋村	0
38	八重瀬町	4
	合計	245

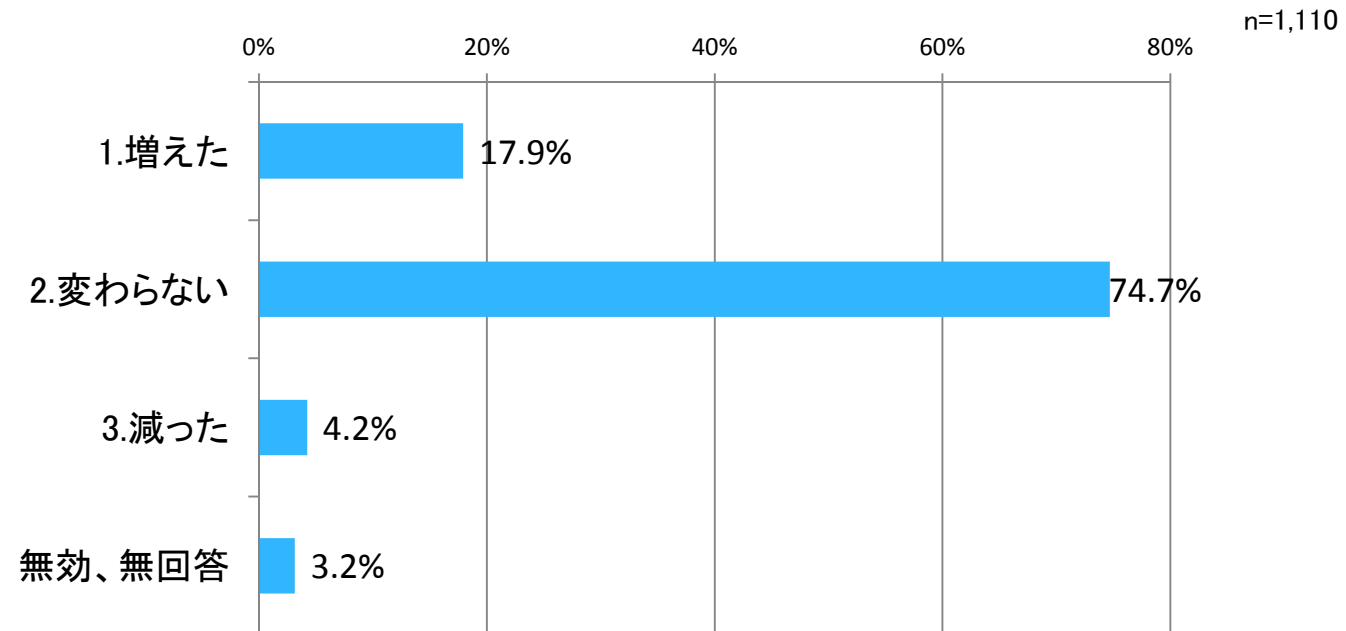
# 1 居場所用アンケート (子どもが回答)の結果

---



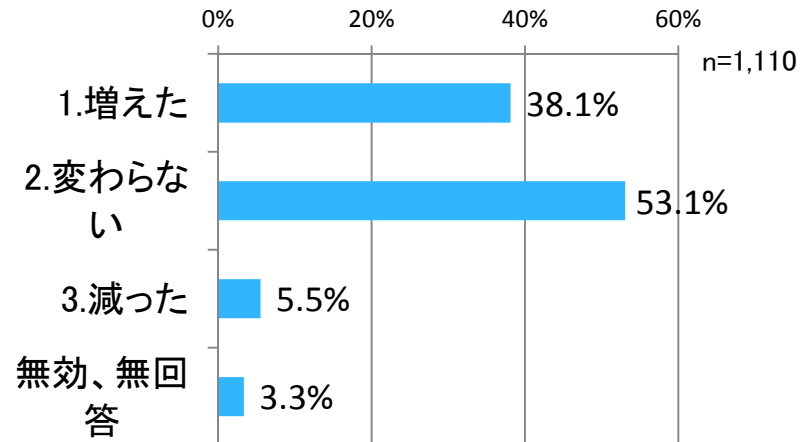
# (1)食事について

Q3 居場所に来る前と比べて、1日の食事回数

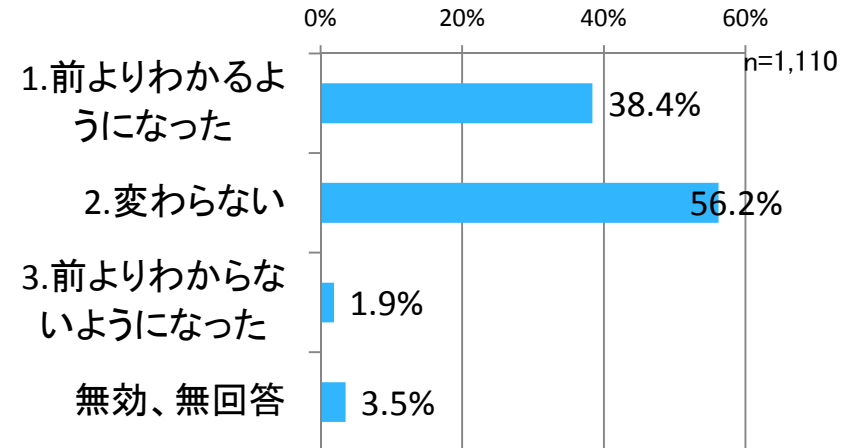


## (2)学校・勉強・読書について

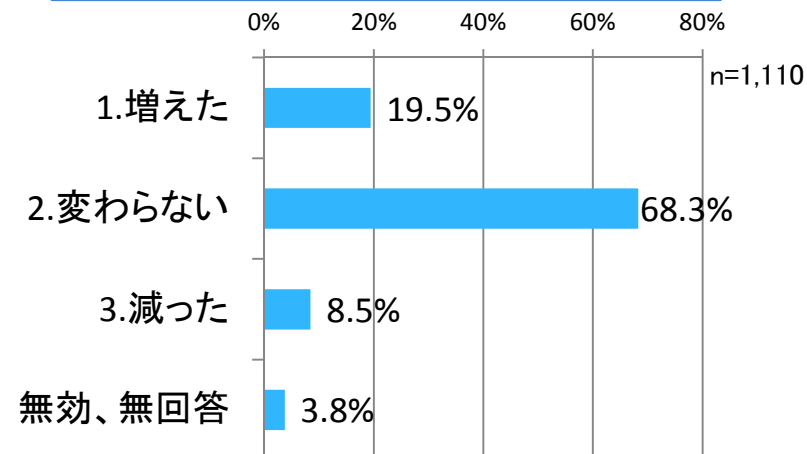
Q4 居場所に来る前と比べて、勉強時間(1日あたり)



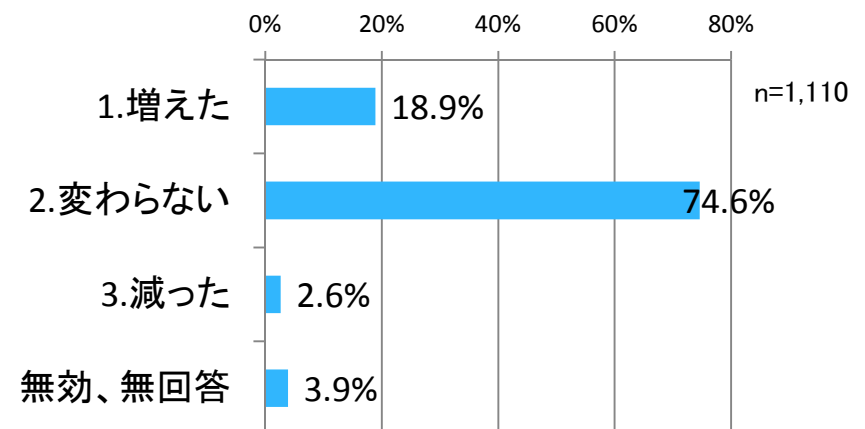
Q6 居場所に来る前と比べて、学校の授業の内容がわかるようになったか



Q5 居場所に来る前と比べて、本を読む時間(1週間あたり)

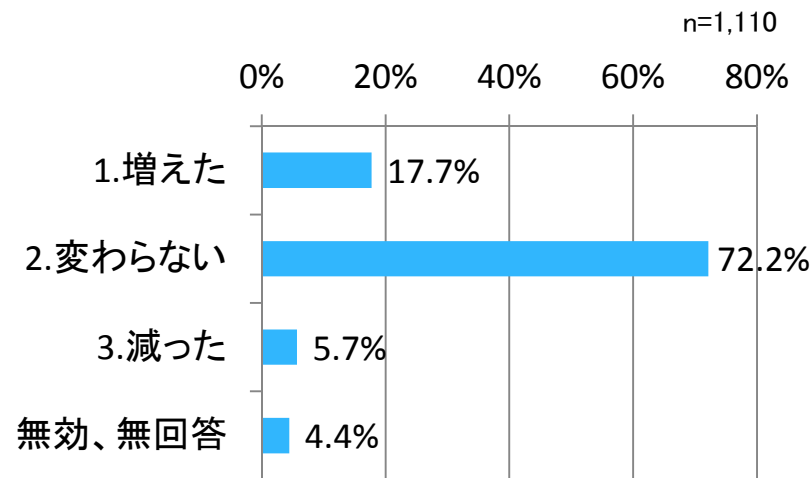


Q7 居場所に来る前と比べて、学校へ登校する日数

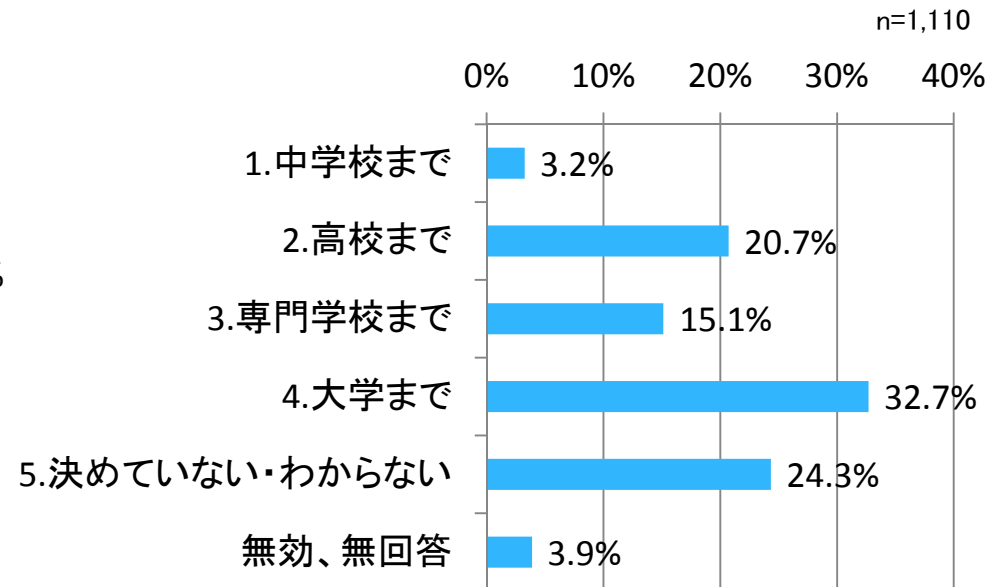


## (2)学校・勉強・読書について(続き)

Q8 居場所に来る前と比べて、  
学校に遅刻する回数

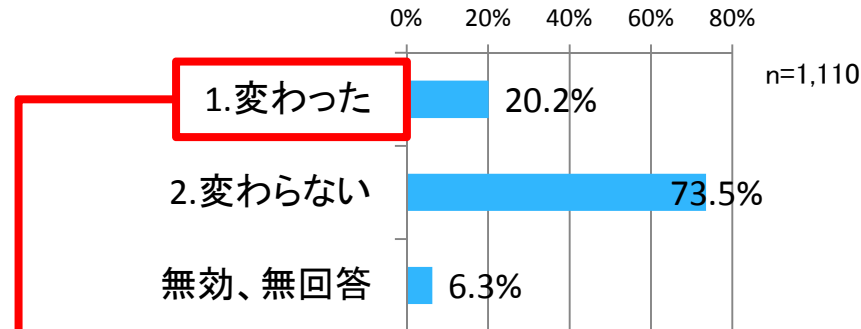


Q9 将来どの学校まで行きたいか

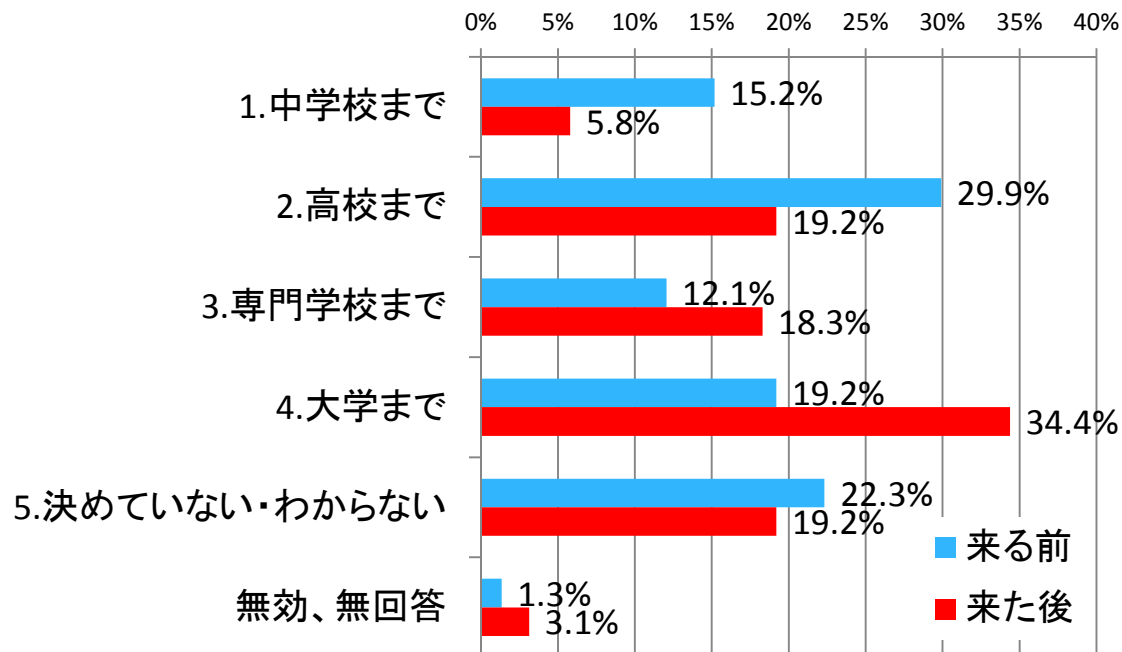


## (2)学校・勉強・読書について(続き)

Q10 「将来どの学校まで行きたいか」について、居場所に来る前と比べて考えが変わったか



Q10-2 Q10で「1. 変わった」と答えた人の考えの変化

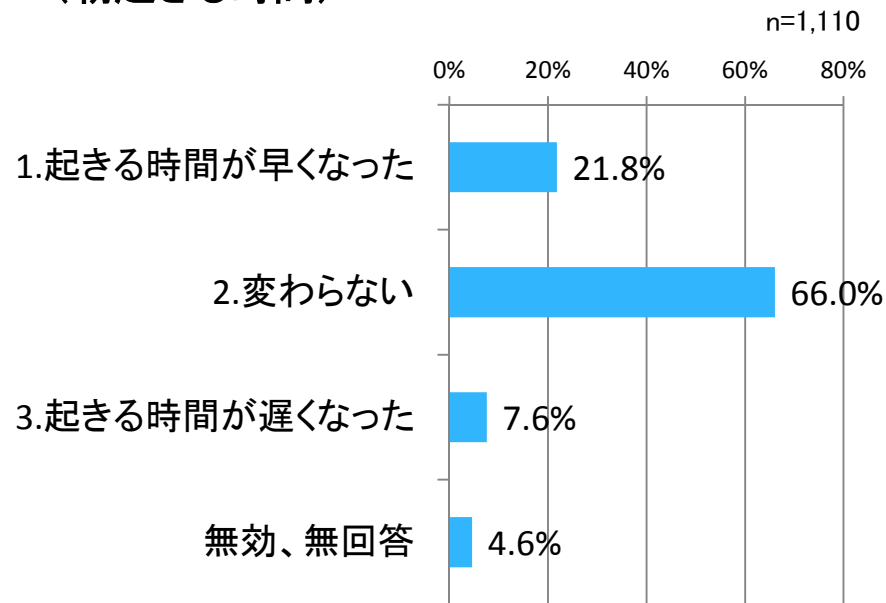


「中学校まで」は9.4ポイント、「高校まで」は10.7ポイント減少し、「専門学校まで」は6.2ポイント、「大学まで」は15.2ポイント増加している。

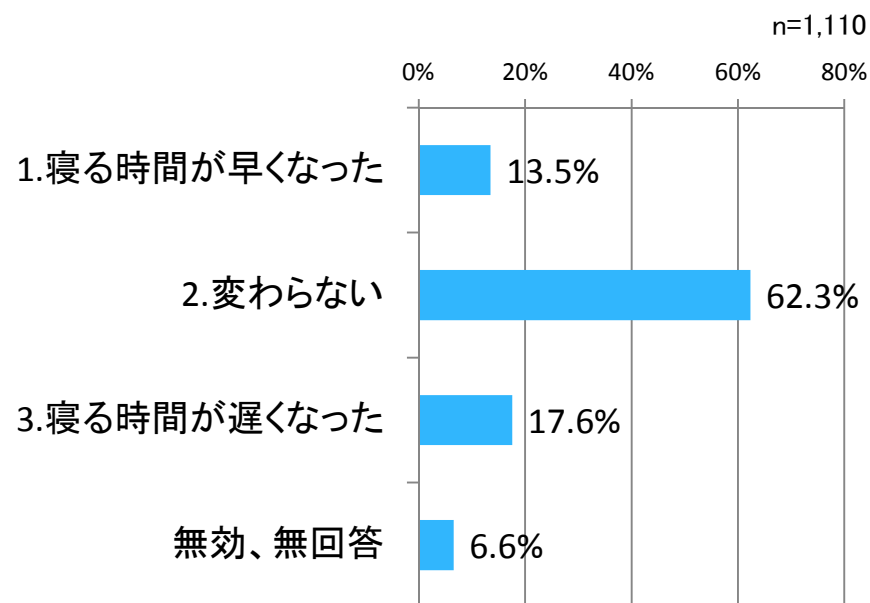
# (3)生活について

Q11 居場所に来る前と比べて、朝起きる時間や夜寝る時間の変化

(朝起きる時間)



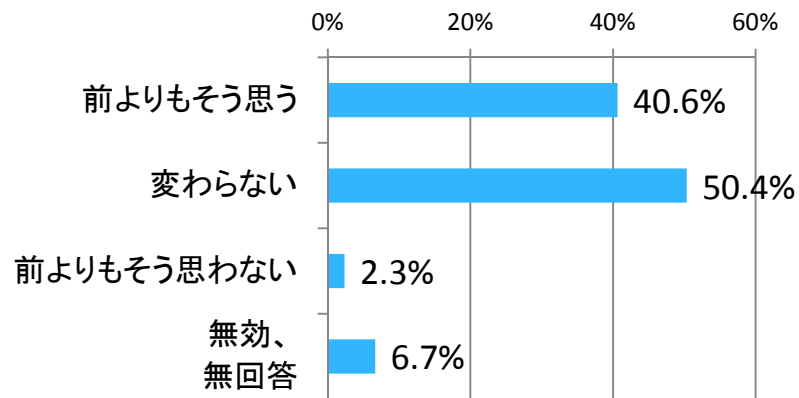
(夜寝る時間)



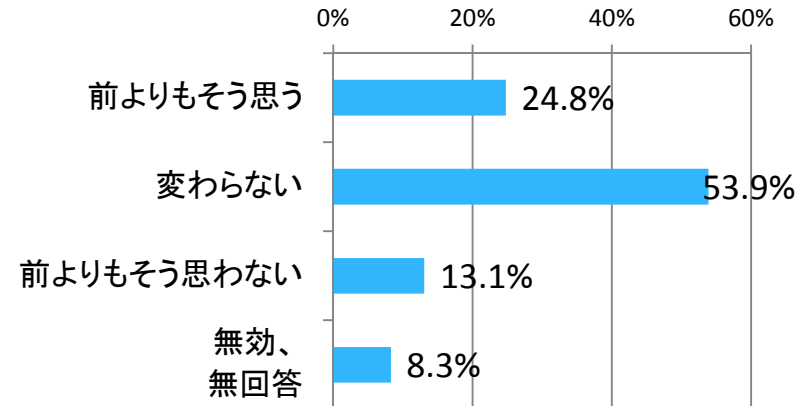
# (4) 自分について

## Q12 居場所に来る前と比べた、 状態や気持ちの変化

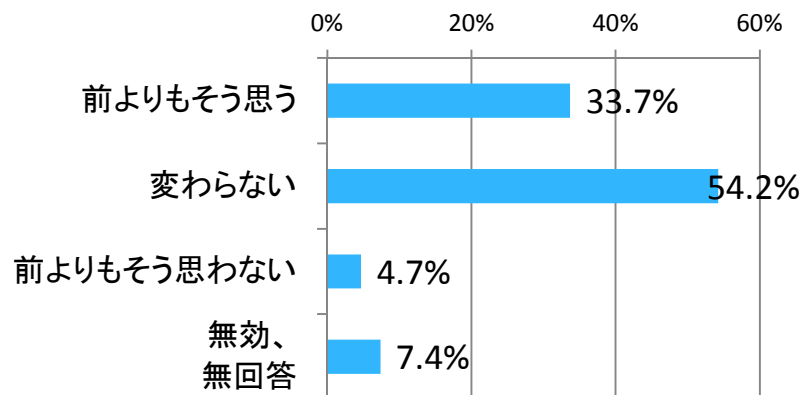
1. 好きなこと、興味のあることがある n=1,110



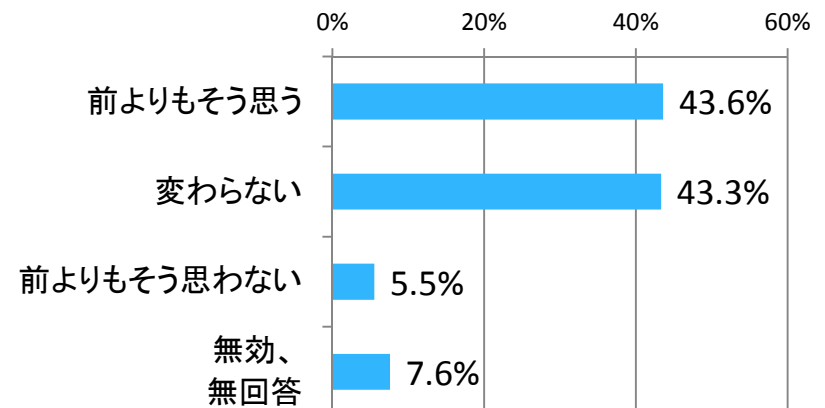
3. 孤独を感じることはない n=1,110



2. 自分は家族に大切にされている n=1,110



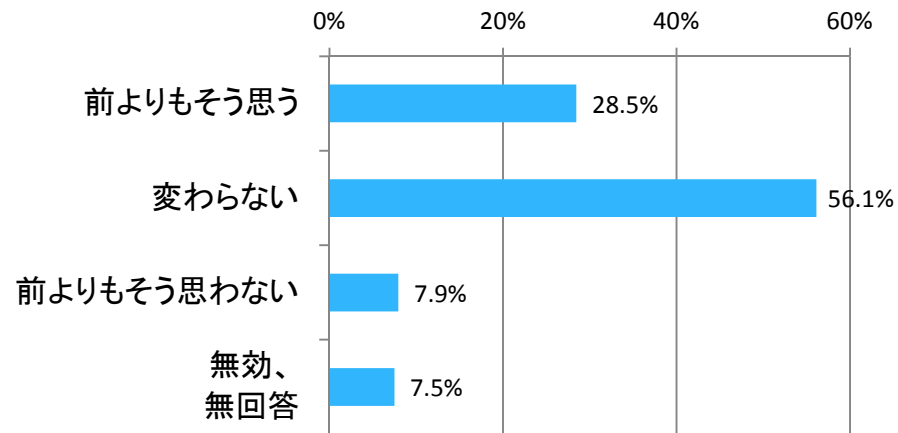
4. 自分の将来が楽しみだ n=1,110



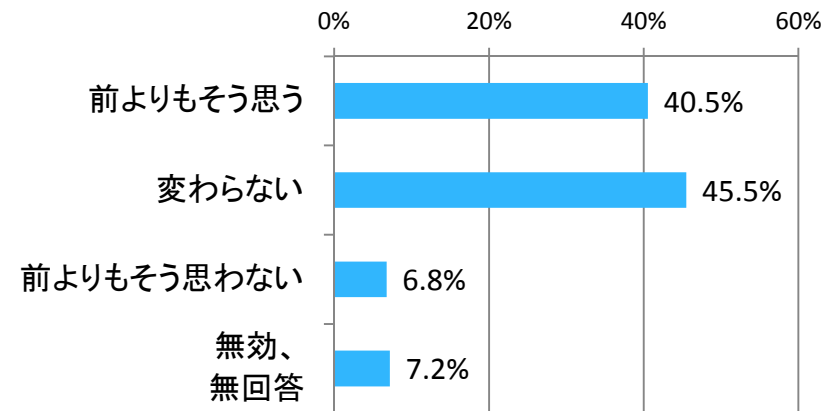
# (4)自分のことについて(続き)

## Q12 居場所に来る前と比べて、 状態や気持ちの変化(続き)

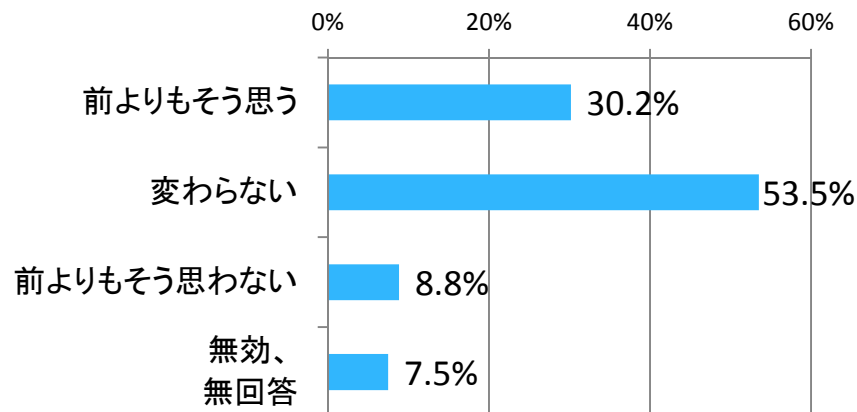
5. 親(又は親代わりとなる人)の気持ちが分かる n=1,110



7. がんばれば、むくわれる n=1,110



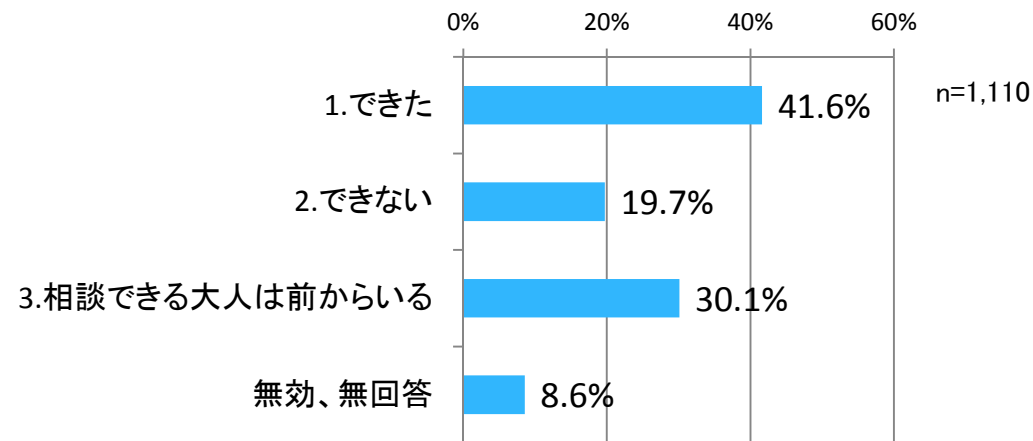
6. 先生の気持ちが分かる n=1,110



居場所に来る前と比べて、「前よりもそう思う」が、「好きなこと、興味のあることがある」では40.6%、「自分の将来が楽しみだ」では43.6%、「がんばれば、むくわれる」では40.5%などと、前向きな変化が現れている。

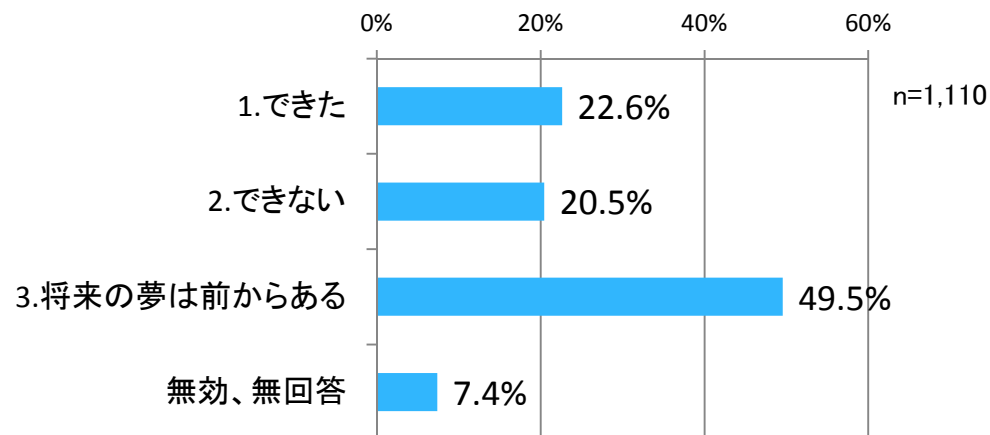
## (4)自分のことについて(続き)

Q13 居場所に来てから、悩んでいるときに親以外で相談できる大人(居場所にいる大人を含む)や友だちができたか



居場所に来て相談できる大人や友だちが「できた」が41.6%となっており、居場所が、子どもが相談できる人間関係づくりに一定の役割を果たしていることが窺える。

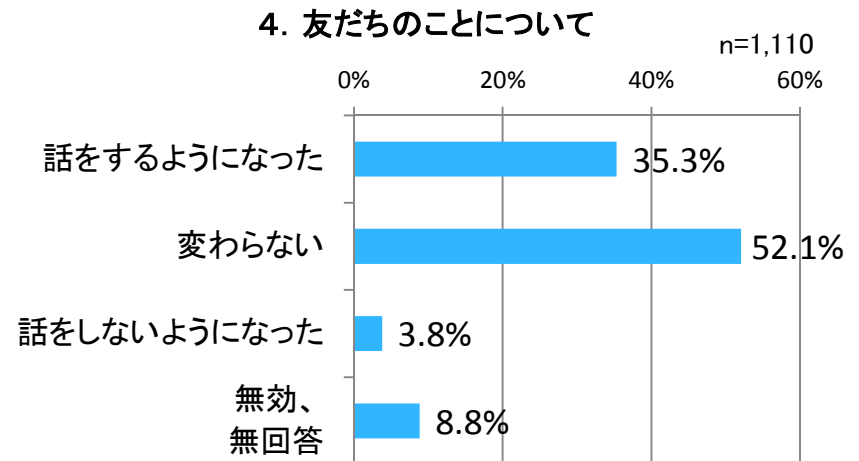
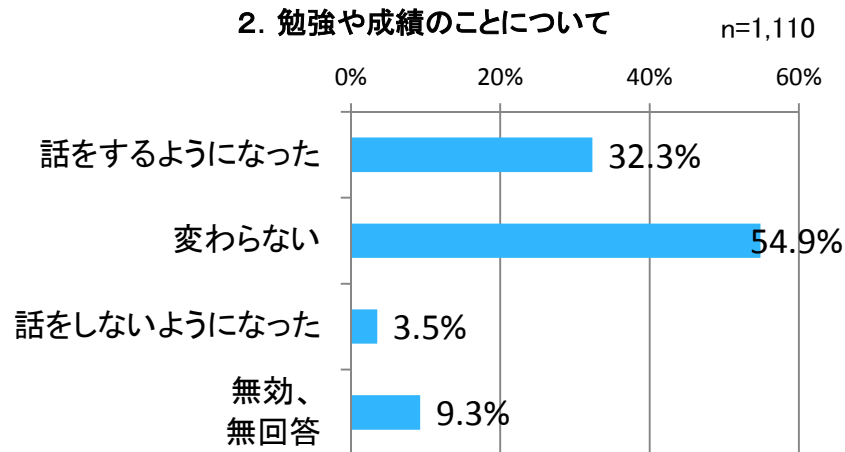
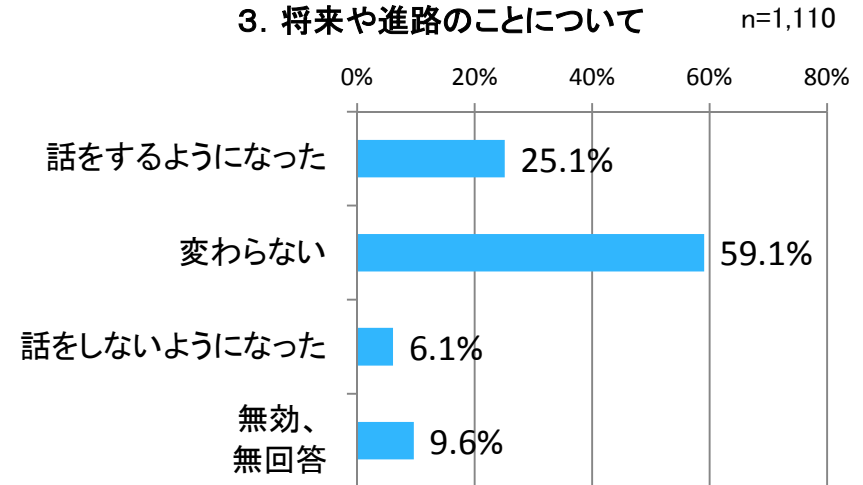
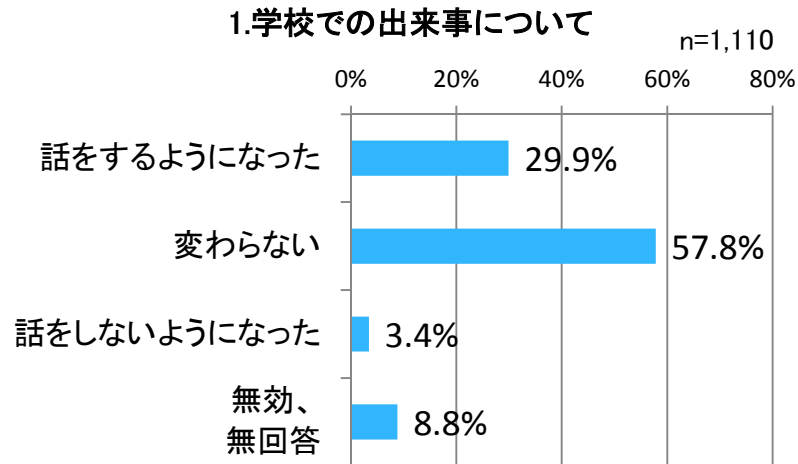
Q14 居場所に来てから、将来の夢ができたか





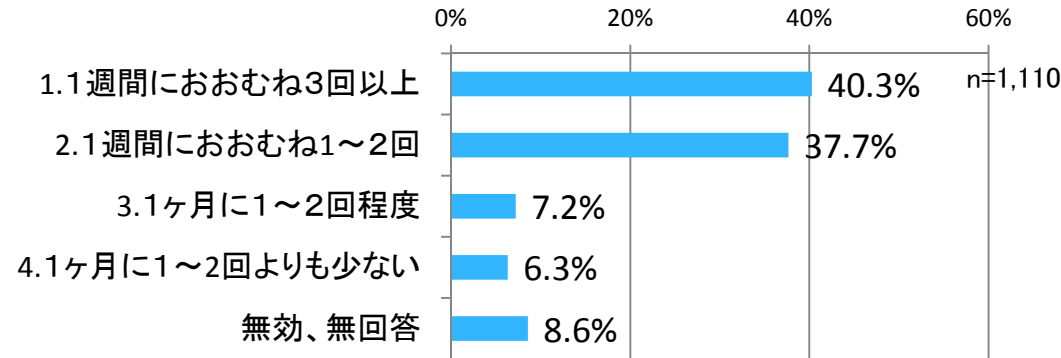
# (4)自分のことについて(続き)

Q15 居場所に来る前と比べて、親(又は親代わりとなる人)とどのくらい話をするか



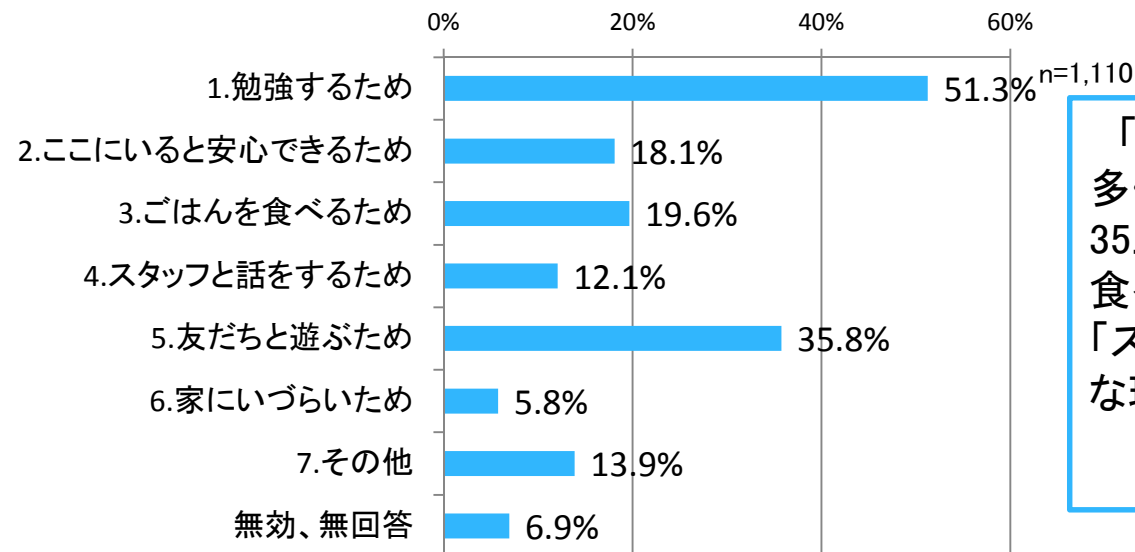
# (5)居場所について

## Q16 居場所にどのくらい来たか



「1ヶ月に1~2回程度」と「1ヶ月に1~2回よりも少ない」の合計は13.5%となっており、居場所に来る頻度が非常に少ない子どもが一定程度いることは課題。

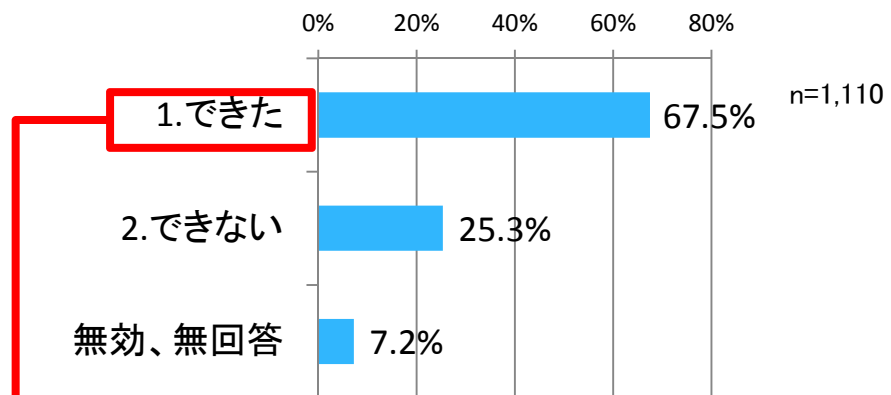
## Q17 居場所に来る理由



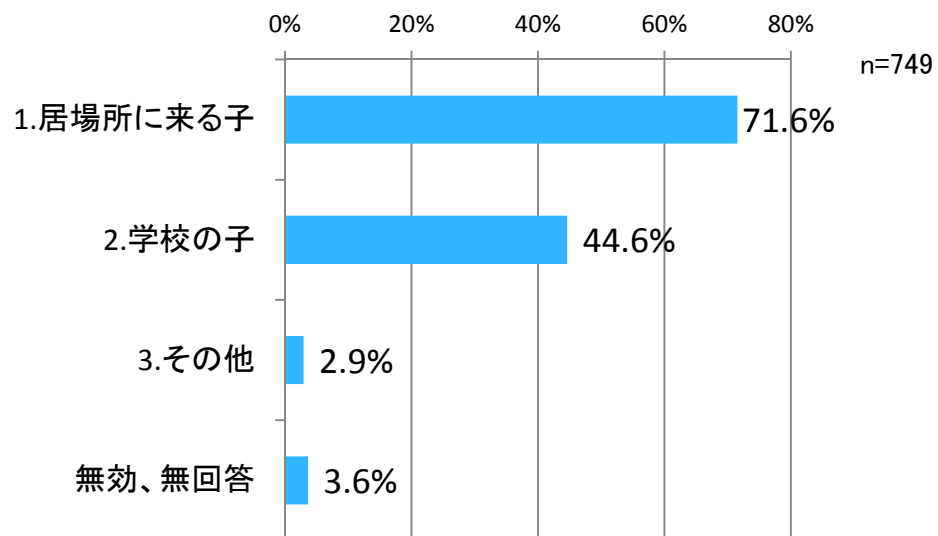
「勉強するため」が51.3%で最も多く、次いで「友だちと遊ぶため」が35.8%となっているが、「ごはんを食べるため」や「安心できるため」、「スタッフと話をするため」など様々な理由が挙げられている。

# (5)居場所について(続き)

Q18 居場所に来てから、新しい友だちができたか

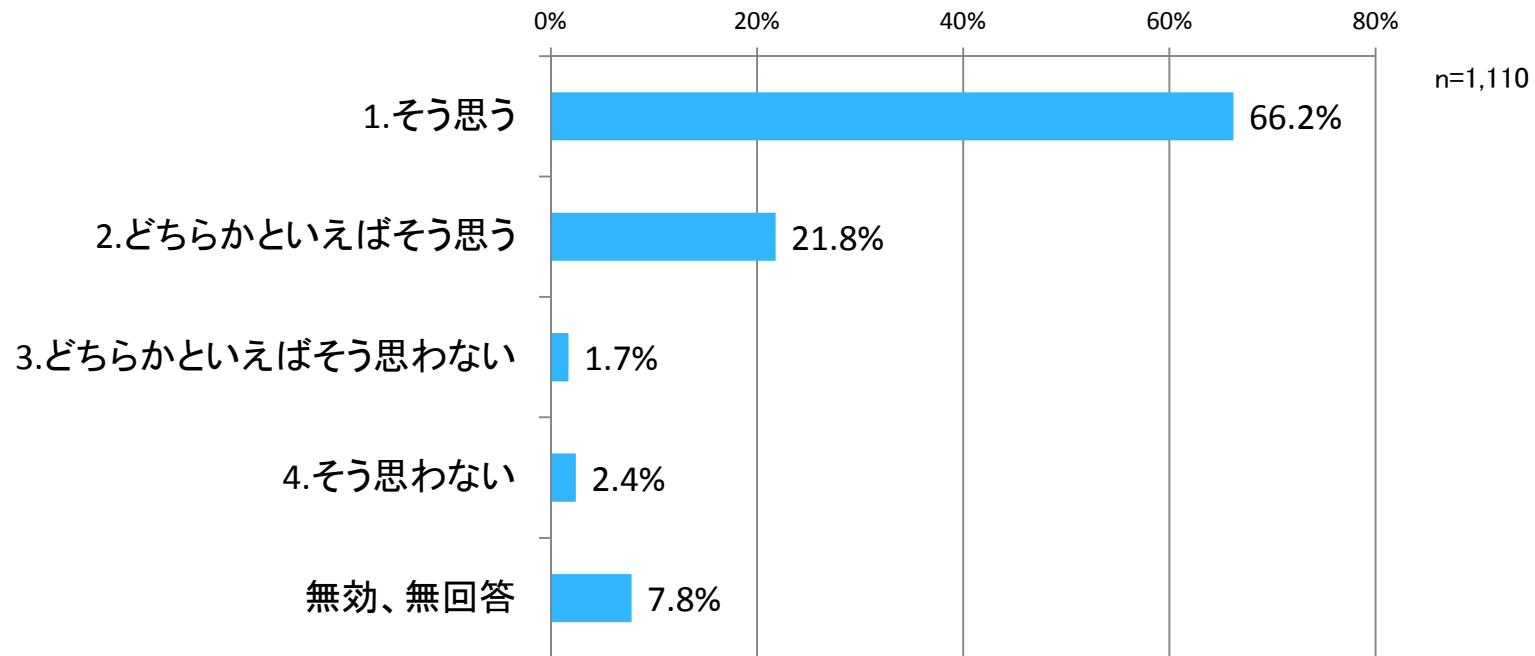


Q18-2 どのような友だちか



## (5)居場所について(続き)

Q19 この居場所に来て良かったと思うか



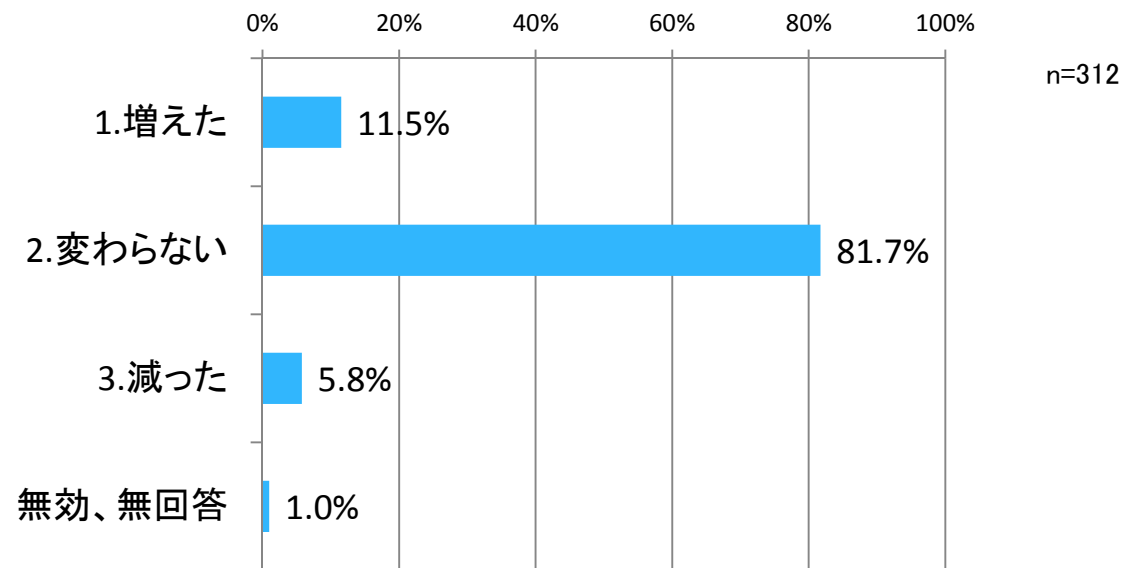
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は88%となっており、ほとんどの子どもが、居場所について好意的に評価をしている。

## 2 支援員配布(子供が回答) アンケートの結果

---

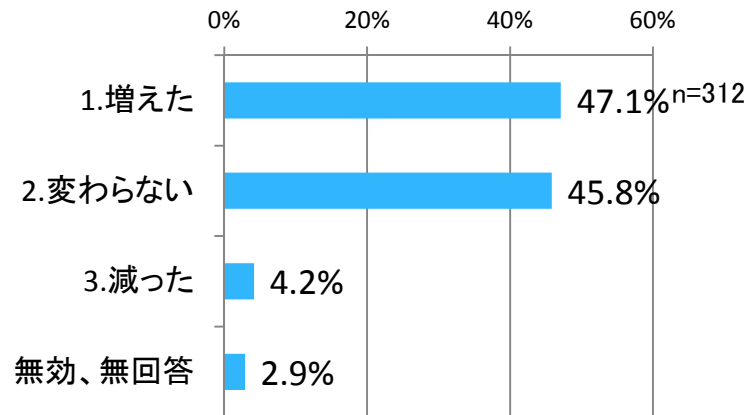
# (1)食事について

Q3 支援員に会う前と比べて、1日の食事回数

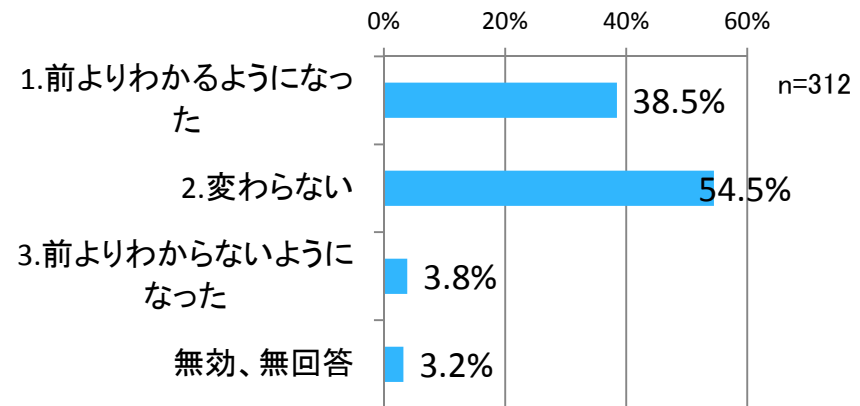


## (2)学校・勉強・読書について

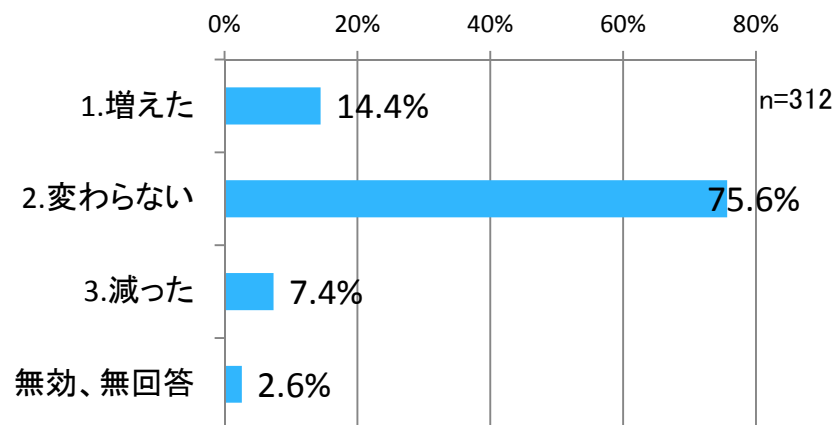
Q4 支援員に会う前と比べて、  
勉強時間(1日あたり)



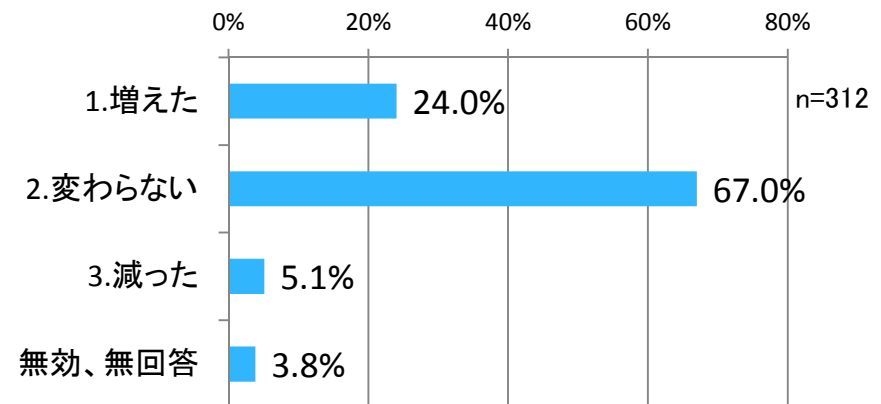
Q6 支援員に会う前と比べ、  
学校の授業の内容がわかるようになったか



Q5 支援員に会う前と比べて、  
本を読む時間(1週間あたり)

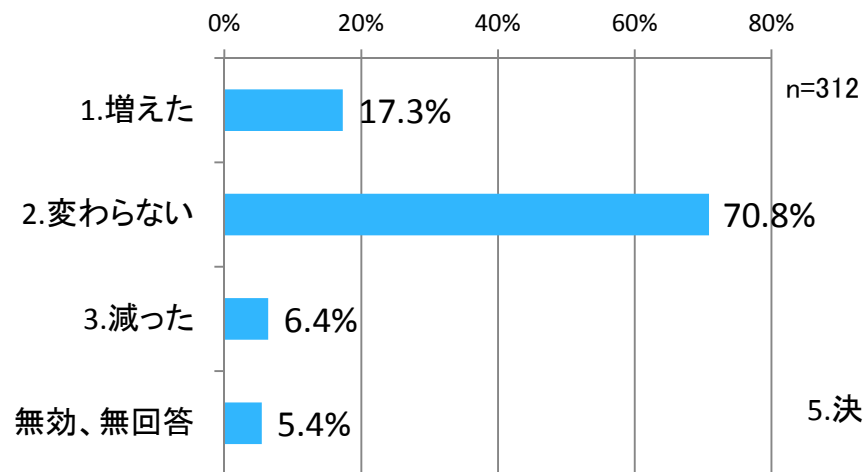


Q7 支援員に会う前と比べて、  
学校へ登校する日数

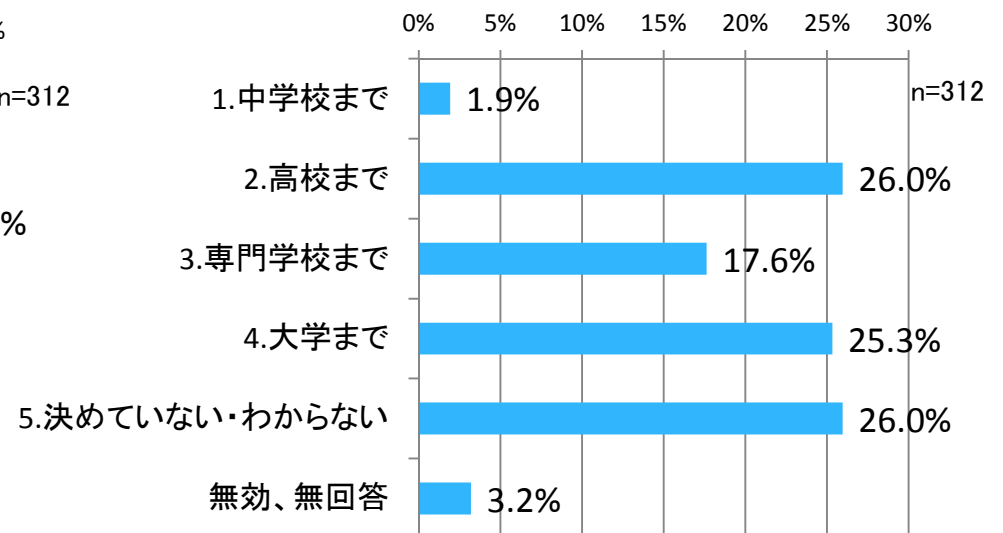


## (2)学校・勉強・読書について(続き)

Q8 支援員に会う前と比べて、  
学校に遅刻する回数



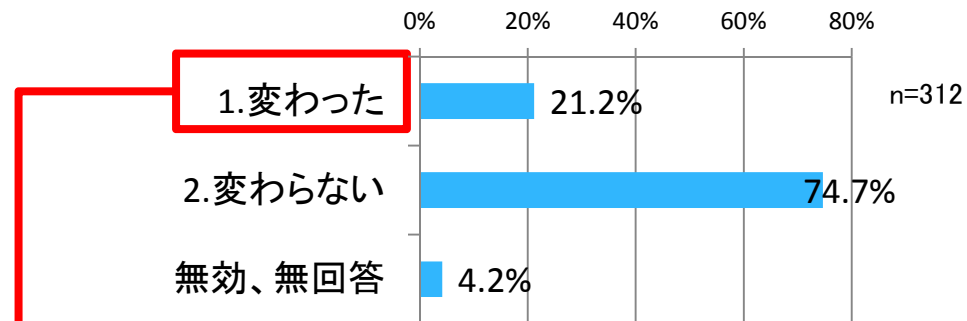
Q9 将来どの学校まで行きたいか



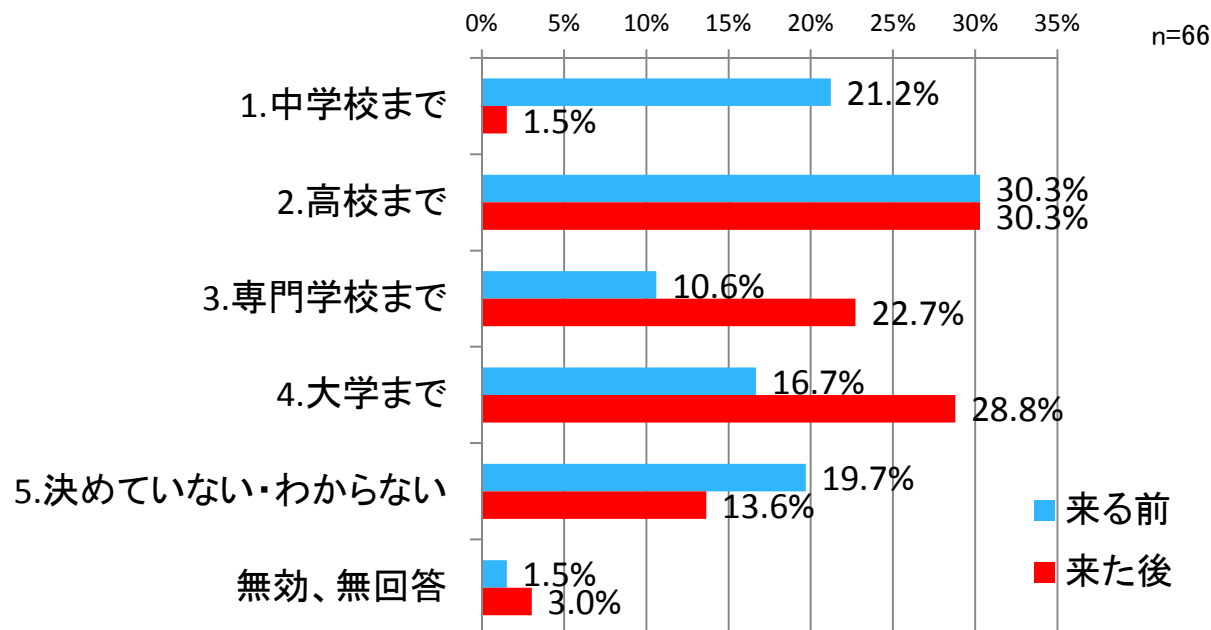


## (2)学校・勉強・読書について(続き)

Q10 「将来どの学校まで行きたいか」について、支援員に会う前と比べて考えが変わったか



Q10-2 Q10で「1. 変わった」と答えた人の考えの変化

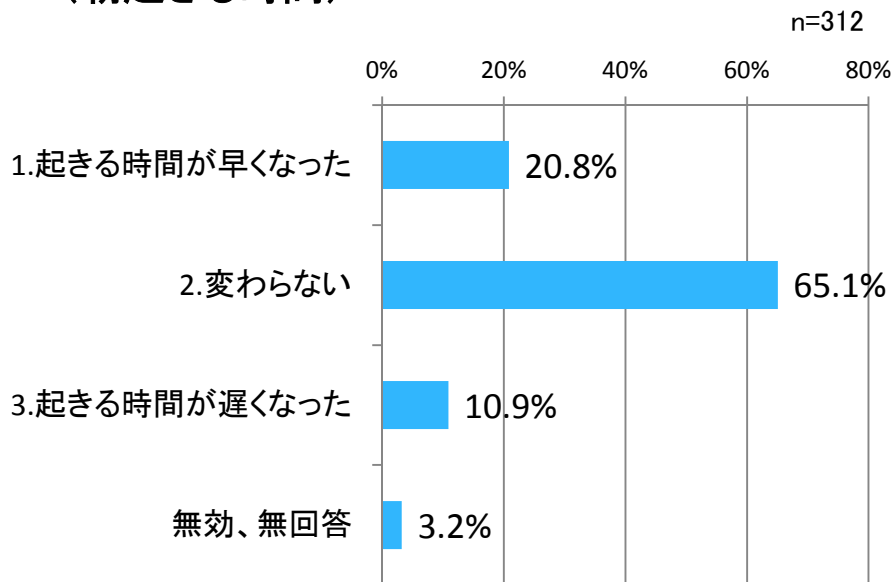


「中学校まで」は  
19.7ポイント減少し、  
「専門学校まで」と  
「大学まで」は12.1ポ  
イント増加している。

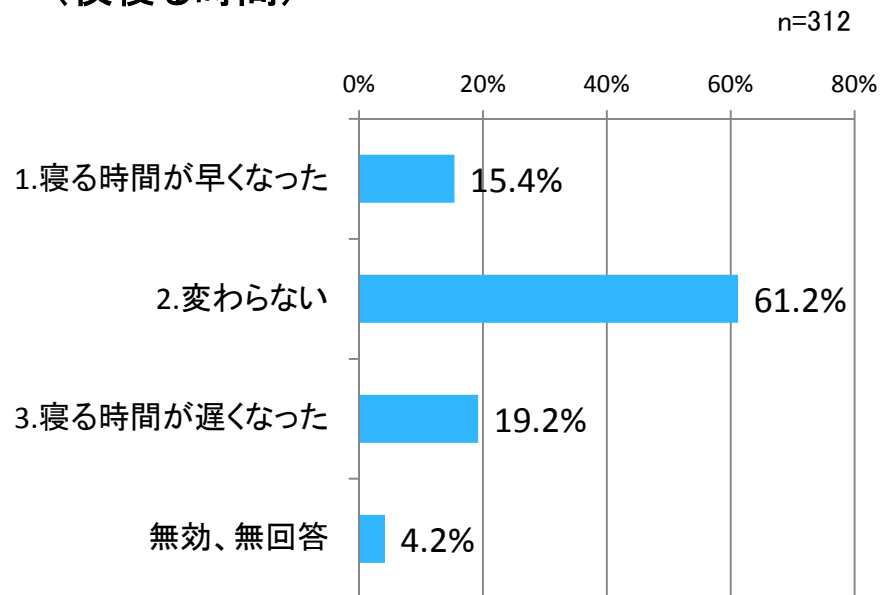
# (3)生活について

Q11 支援員に会う前と比べて、朝起きる時間や夜寝る時間の変化

(朝起きる時間)



(夜寝る時間)

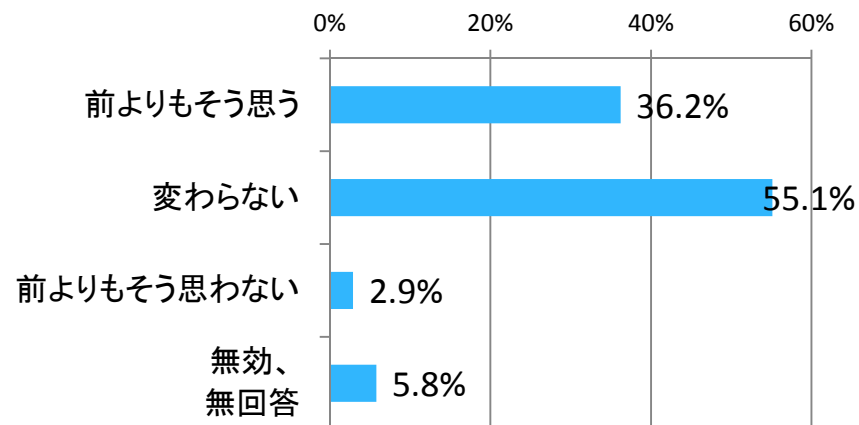


# (4)自分のことについて

## Q12 支援員に会う前と比べて、 状態や気持ちの変化

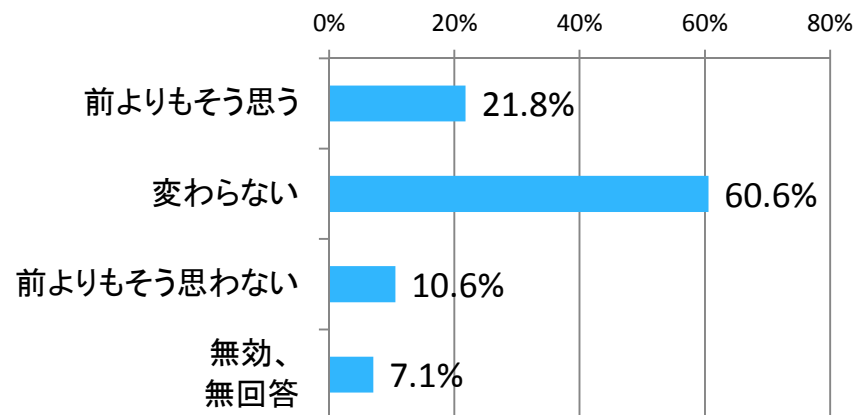
1.好きなこと、興味のあることがある

n=312



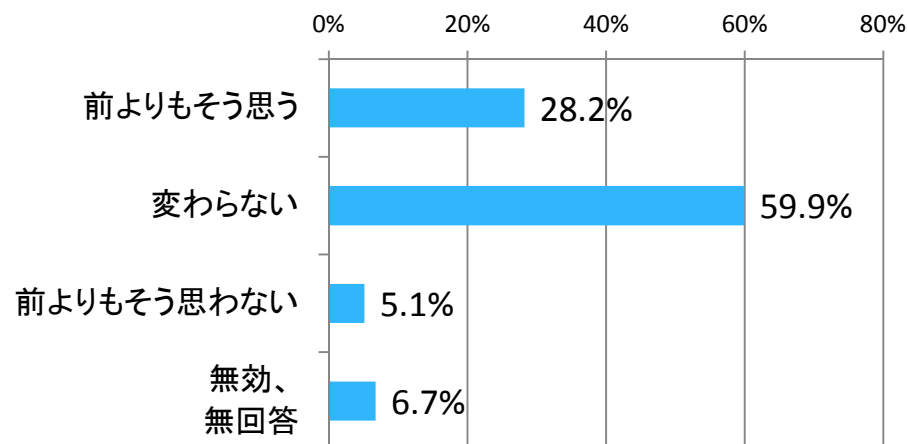
3. 孤独を感じることはない

n=312



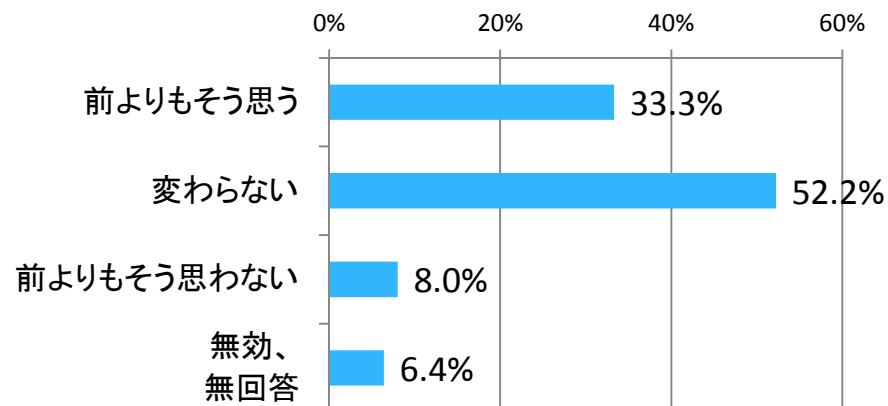
2. 自分は家族に大切にされている

n=312



4. 自分の将来が楽しみだ

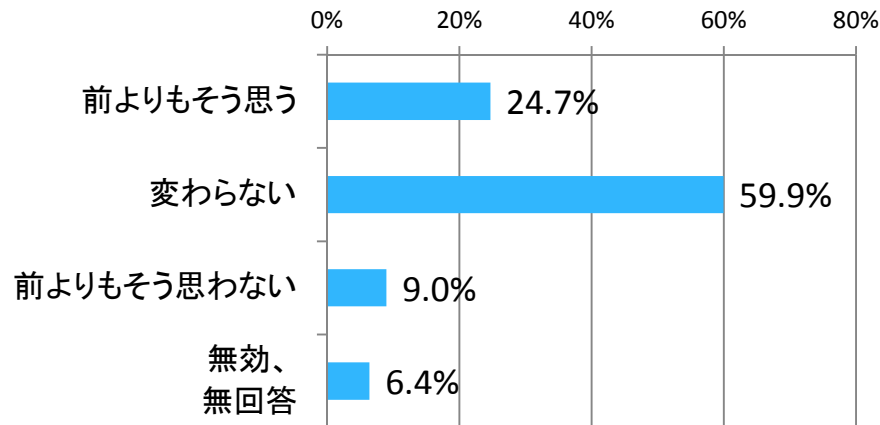
n=312



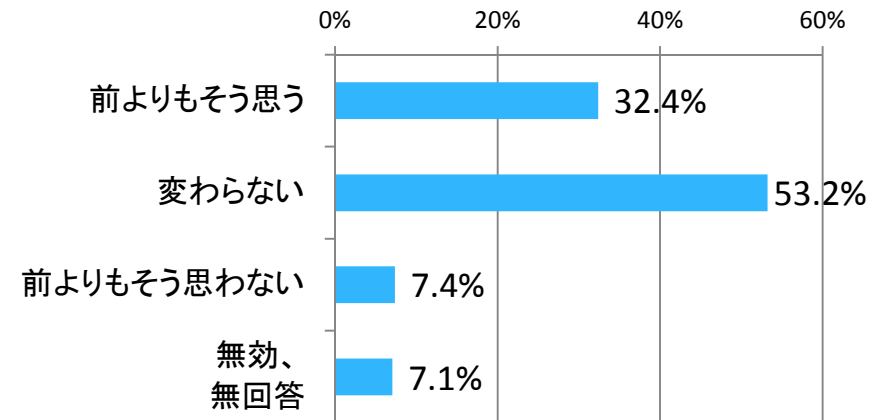
# (4)自分のことについて(続き)

## Q12 支援員に会う前と比べて、 状態や気持ちの変化(続き)

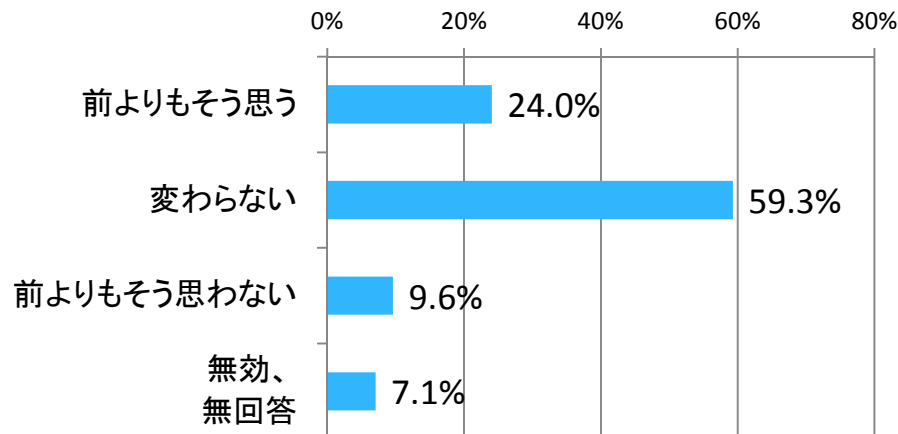
5. 親(又は親代わりとなる人)の気持ちが分かる n=312



7. がんばれば、むくわれる n=312



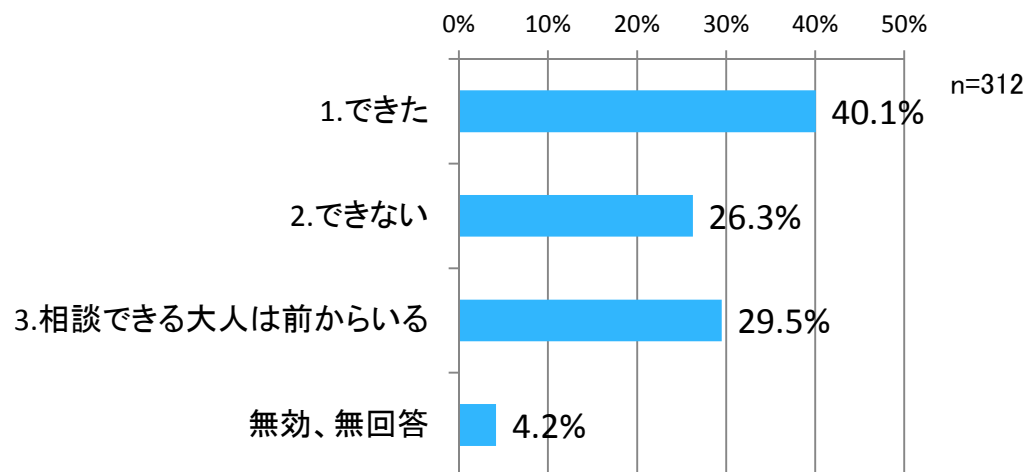
6. 先生の気持ちが分かる n=312



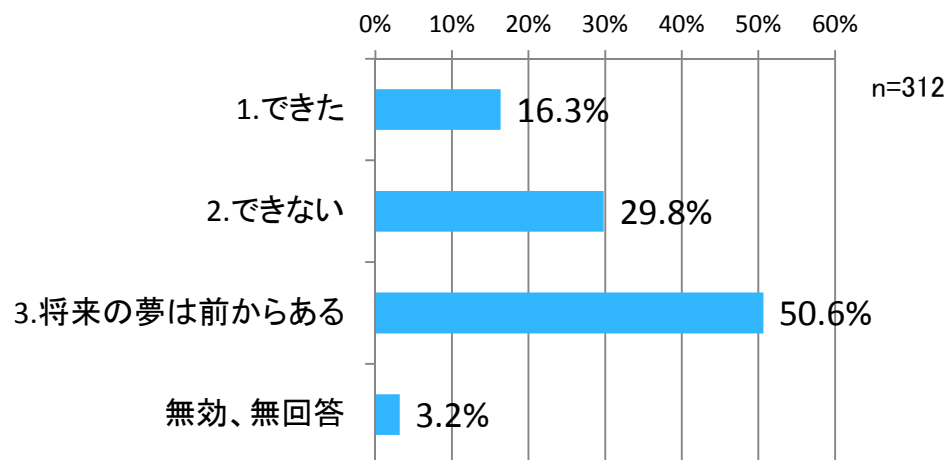
支援員に会う前と比べて、「前よりもそう思う」が、「好きなこと、興味のあることがある」では36.2%、「自分の将来が楽しみだ」では33.3%、「がんばれば、むくわれる」では32.4%などと、前向きな変化が現れている。

## (4)自分のことについて(続き)

Q13 支援員に出会ってから、悩んでいるときに親以外で相談できる大人(支援員を含む)や友だちができたか

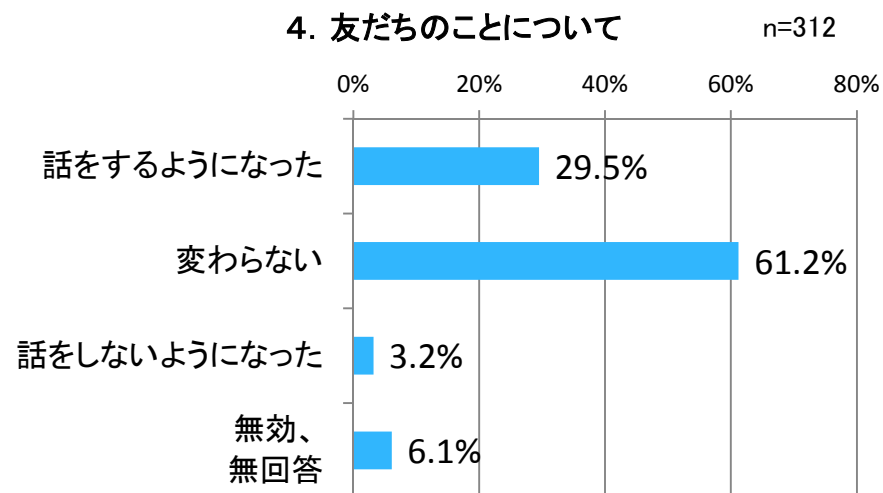
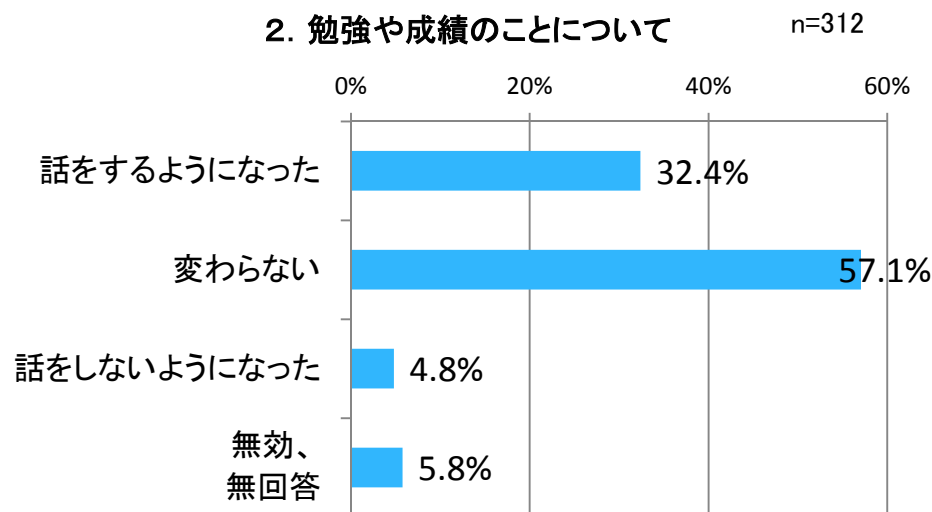
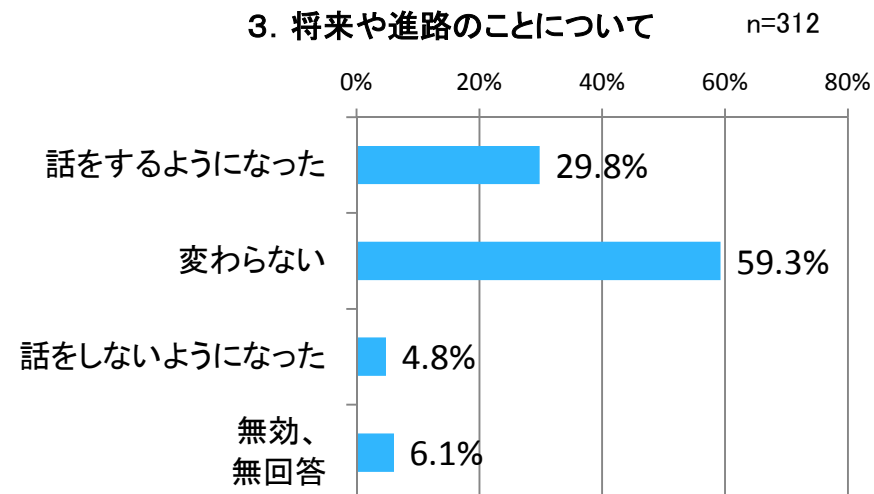
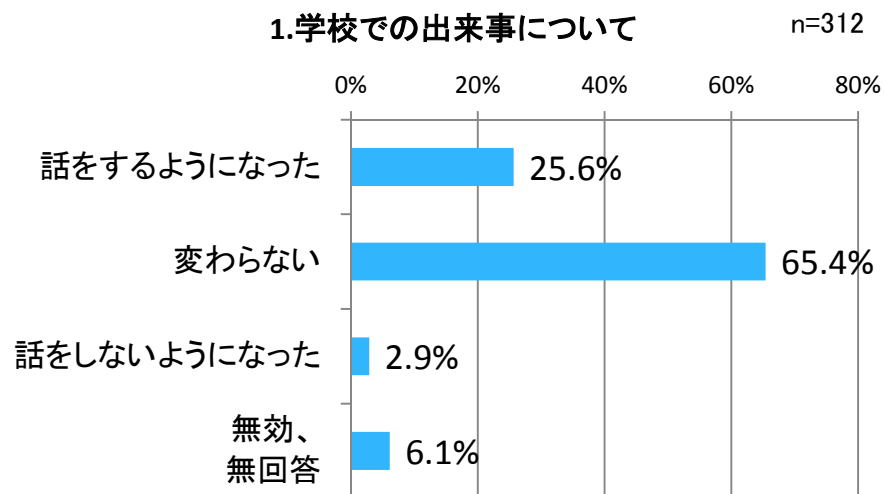


Q14 支援員に出会ってから、将来の夢ができたか



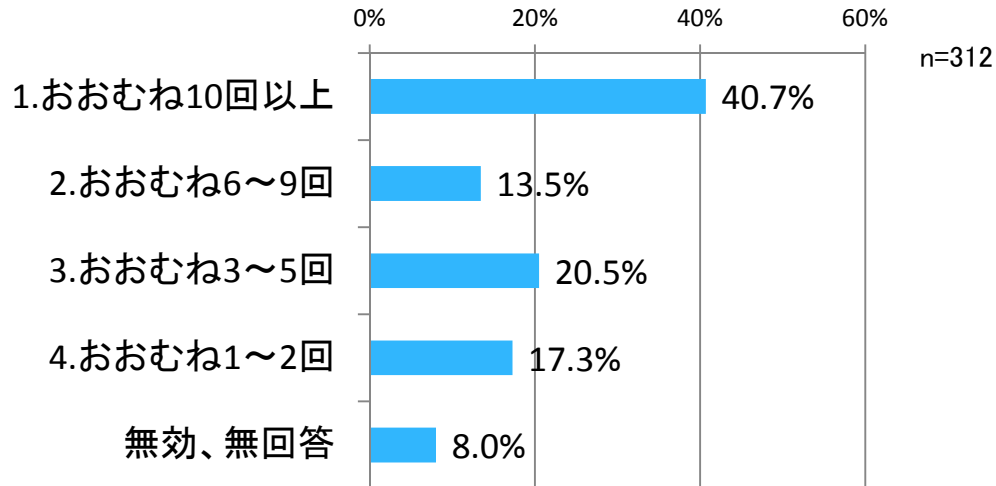
# (4)自分のことについて(続き)

Q15 支援員に会う前と比べて、親(又は親代わりとなる人)とどのくらい話をするか



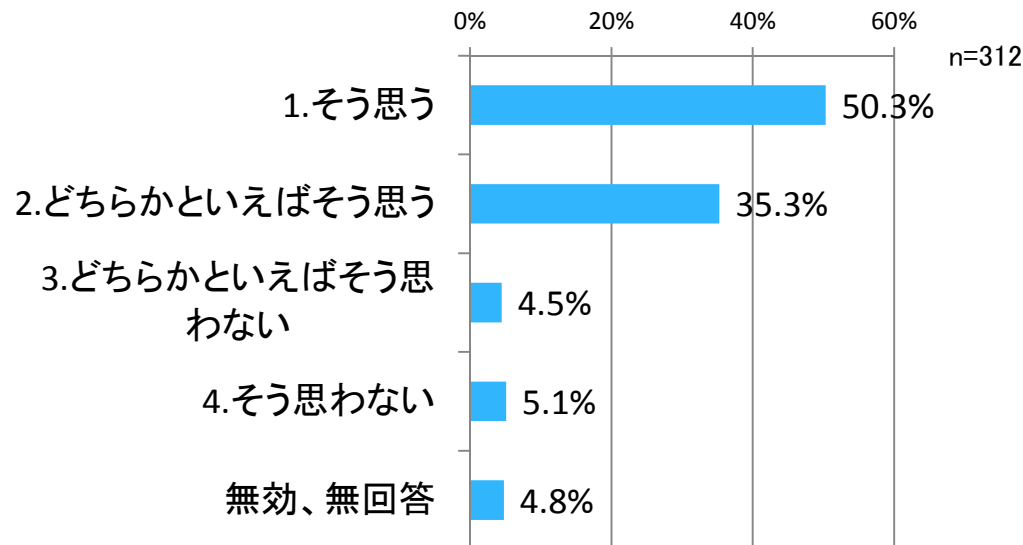
# (5)支援員について

## Q16 支援員に会った回数



「おおむね1～2回」が17.3%となっており、支援員に会った回数が非常に少ない子どもが一定程度いることは課題。

## Q17 支援員に会うようになって良かったか



「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は85.6%となっており、ほとんどの子どもが、支援員について好意的に評価をしている。

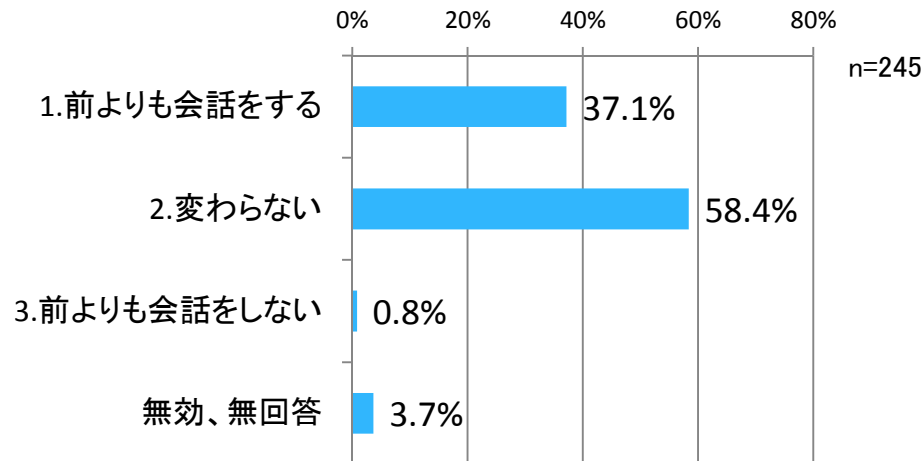
# 3 支援員配布（保護者が回答） アンケートの結果

---

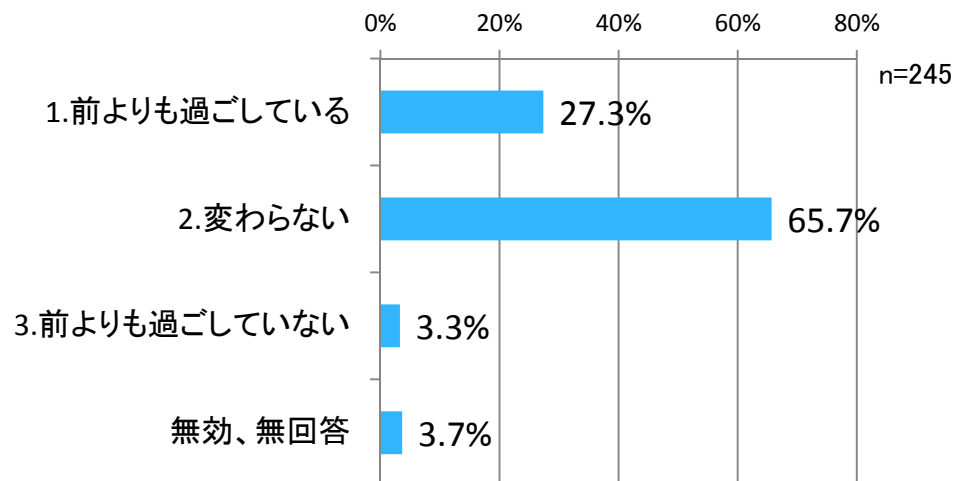


# (1)お子さんとの関係について

## Q3-ア 支援員に会う前と比べて、よく会話するか

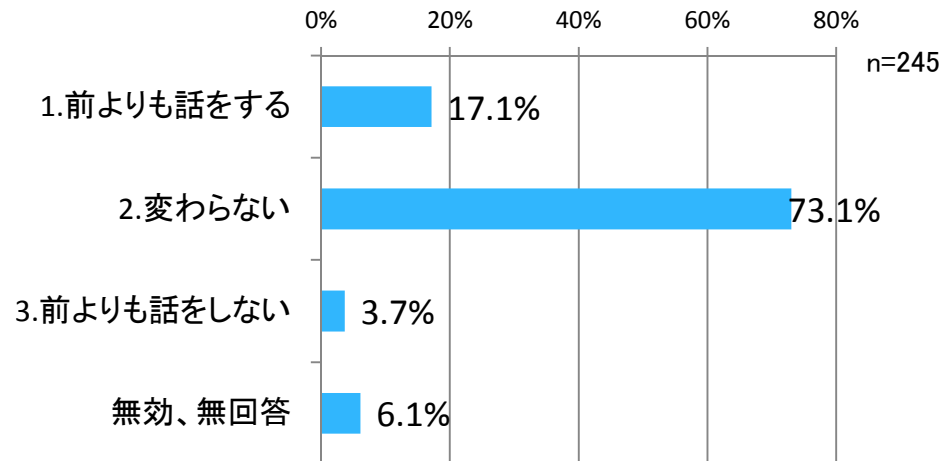


## Q3-イ 支援員に会う前と比べて、子どもと十分時間を過ごしているか

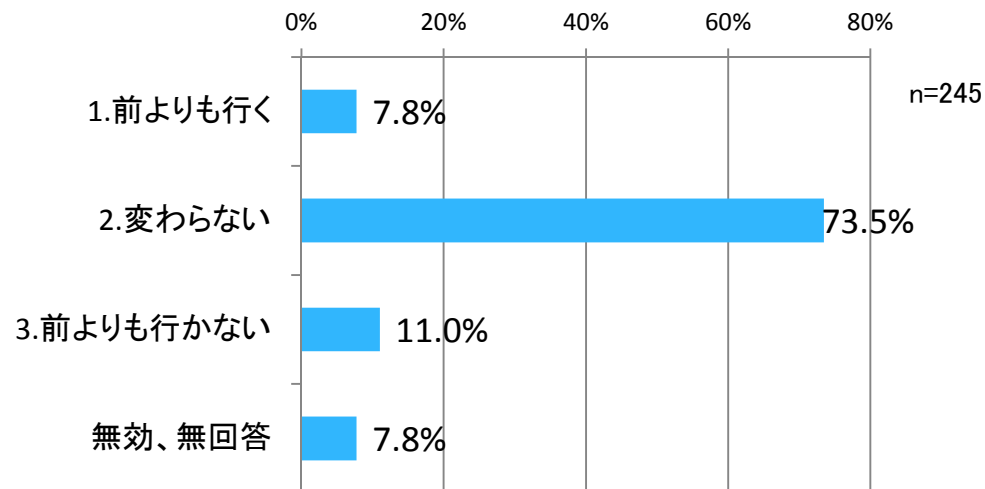


# (1)お子さんとの関係について(続き)

## Q3-ウ 支援員に会う前と比べて、子どもと読んだ本の感想を話し合うか

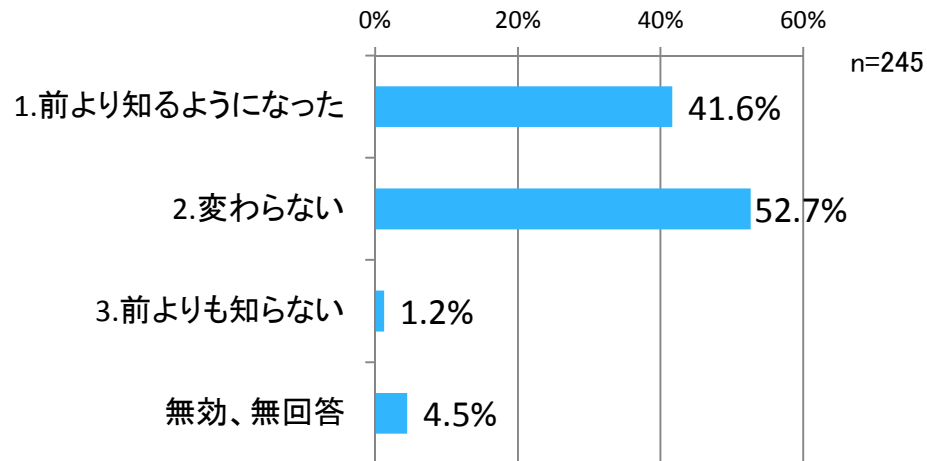


## Q3-エ 支援員に会う前と比べて、子どもと一緒に図書館へ行くか



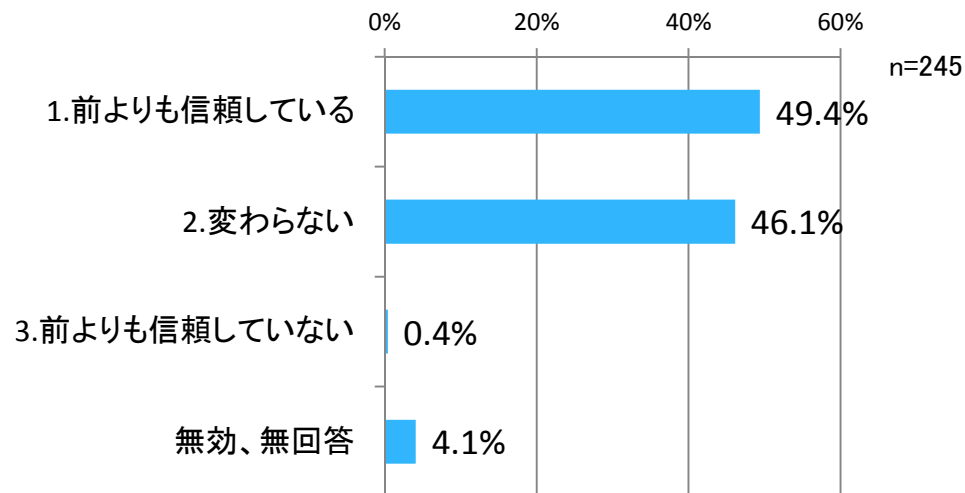
# (1)お子さんとの関係について(続き)

## Q3-オ 支援員に会う前と比べて、子どもが将来の夢をどう思っているか知ようになったか



支援員に会うことにより、子どもの将来の夢を「前よりも知ようになった」が41.6%となっている。  
Q3-アで「前よりも会話をする」が37.1%となっていることとあわせ、支援により、親子のコミュニケーションが多くなっていることが窺える。

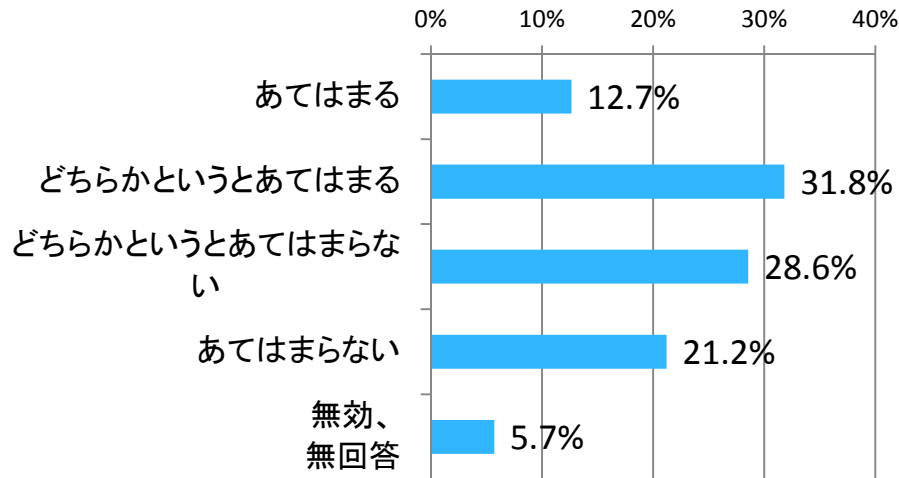
## Q3-カ 支援員に会う前と比べて、子どもを信頼するようになったか



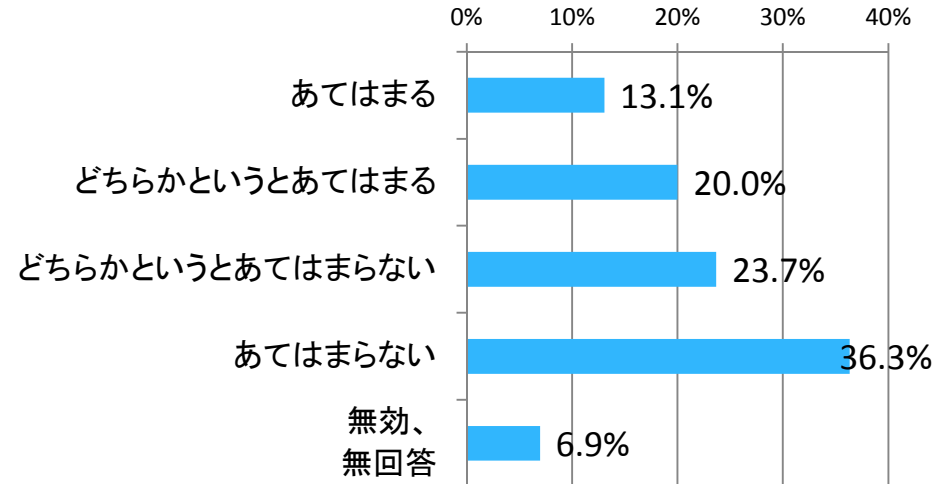
# (2)子育てについて

## Q4 これまでの子育てについての気持ち

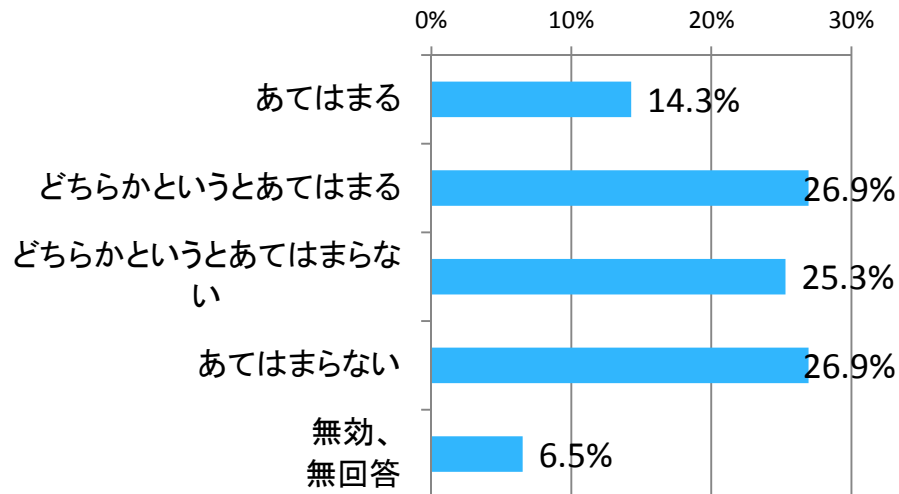
1. ついつい子供にあたってしまう n=245



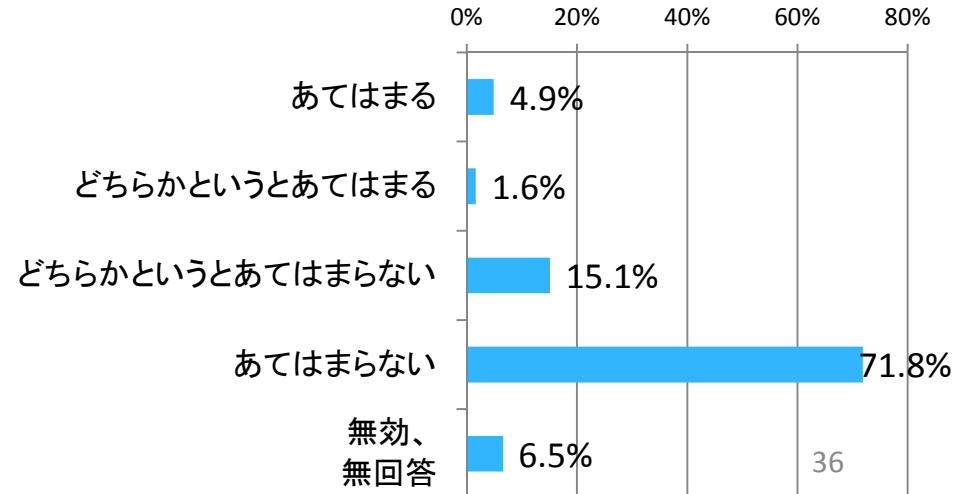
3. 自分一人で育てているという圧迫感を感じる n=245



2. 子どもを育てるために我慢している n=245



4. 子供の世話にはあまり関心がない n=245

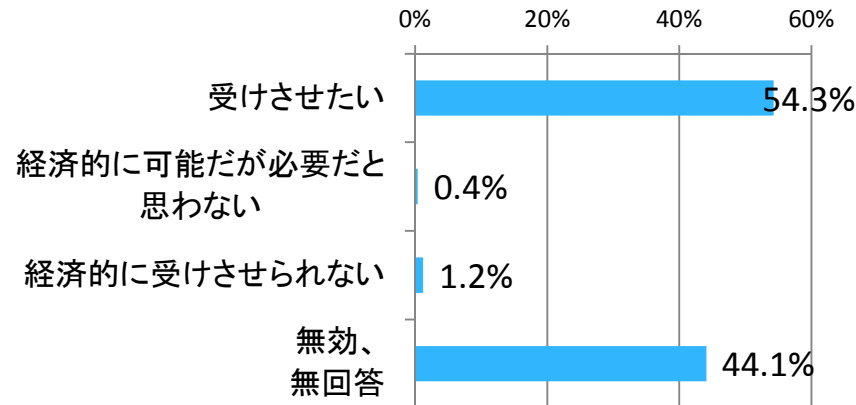


# (2)子育てについて(続き)

## Q5 子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか

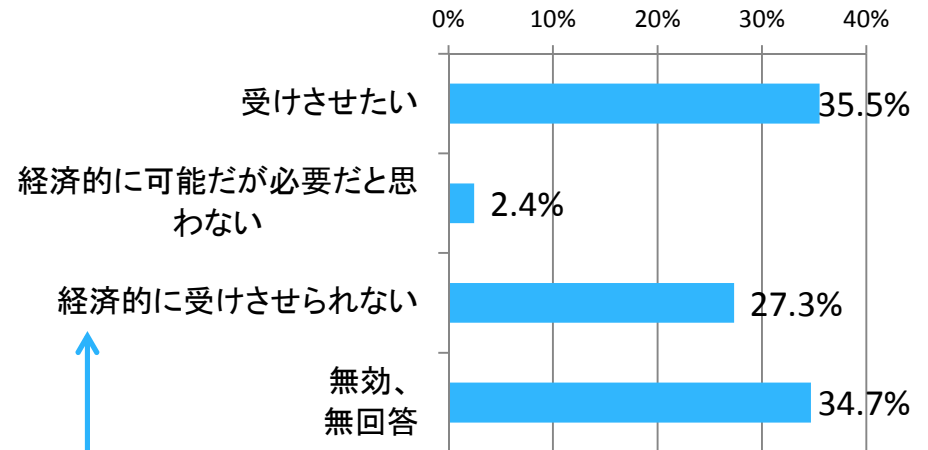
### 1. 中学校までの教育

n=245



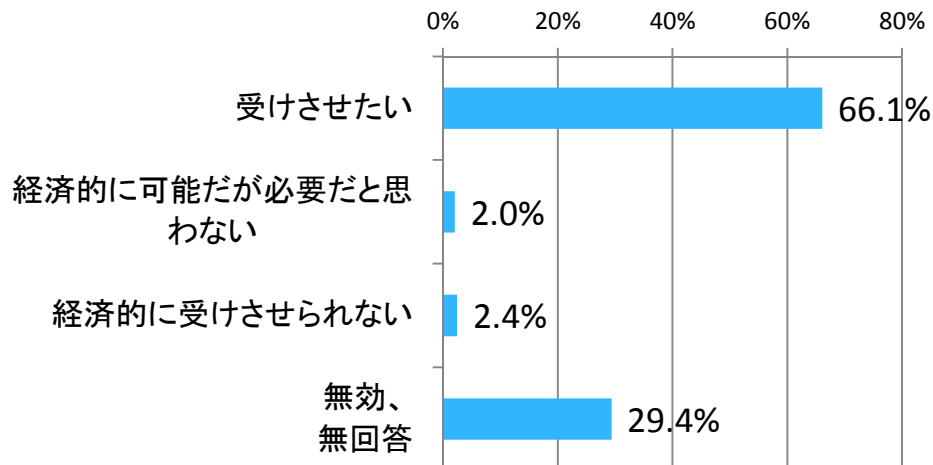
### 3. 専門学校までの教育

n=245



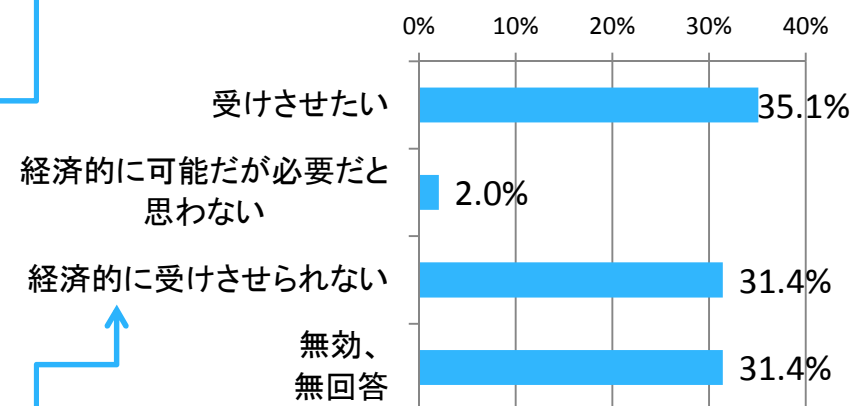
### 2. 高校までの教育

n=245



### 4. 大学までの教育

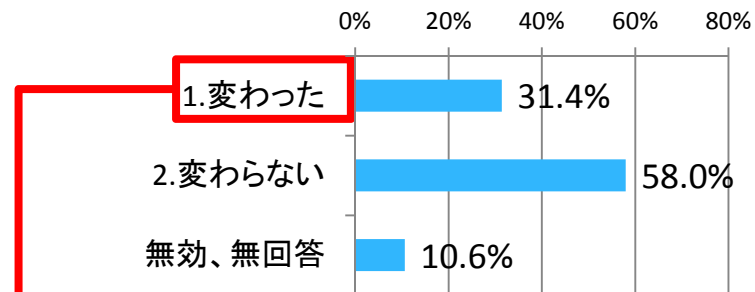
n=245



「専門学校」、「大学」になると、「経済的に受けさせられない」の割合が高まる。

# (2)子育てについて(続き)

Q6 「将来どの段階までの教育を受けさせたいか」について、支援員に会う前と比べて考えがわったか

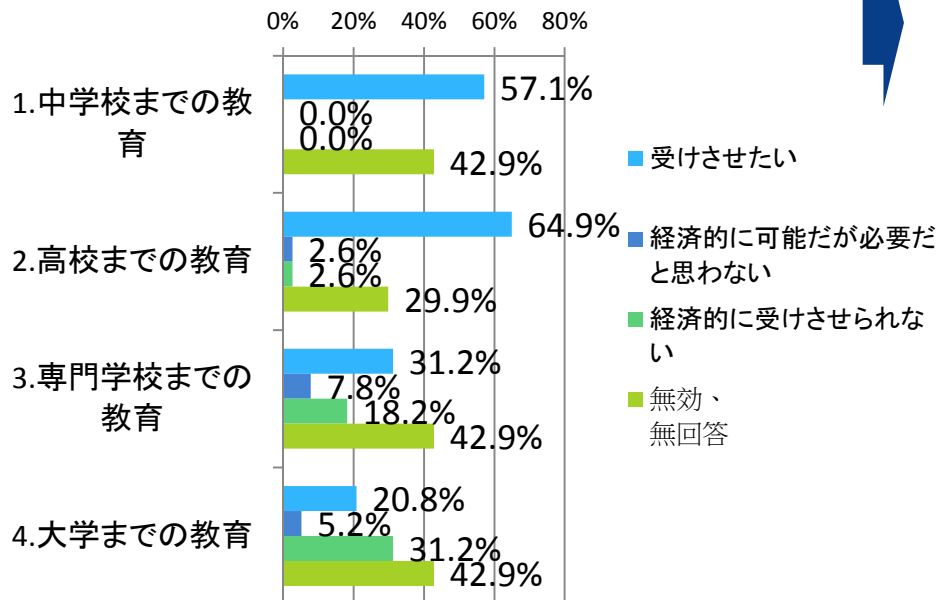


「大学までの教育」について、「受けさせたい」が20.8%から36.4%に増加しているが、「経済的に受けさせられない」は31.2%から29.9%と大きな変化がない。

## Q6-2 Q6で「1. 変わった」と答えた人の考えの変化

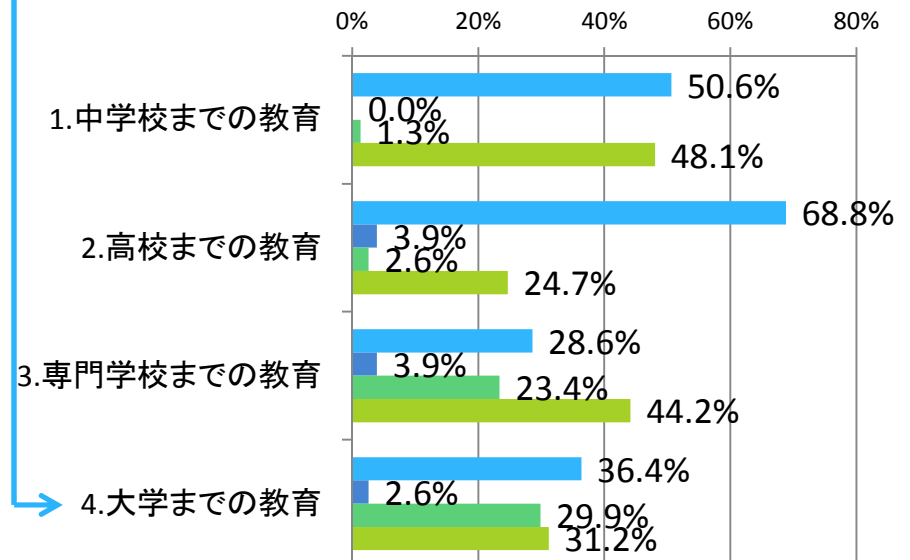
(支援員に会う前)

n=77



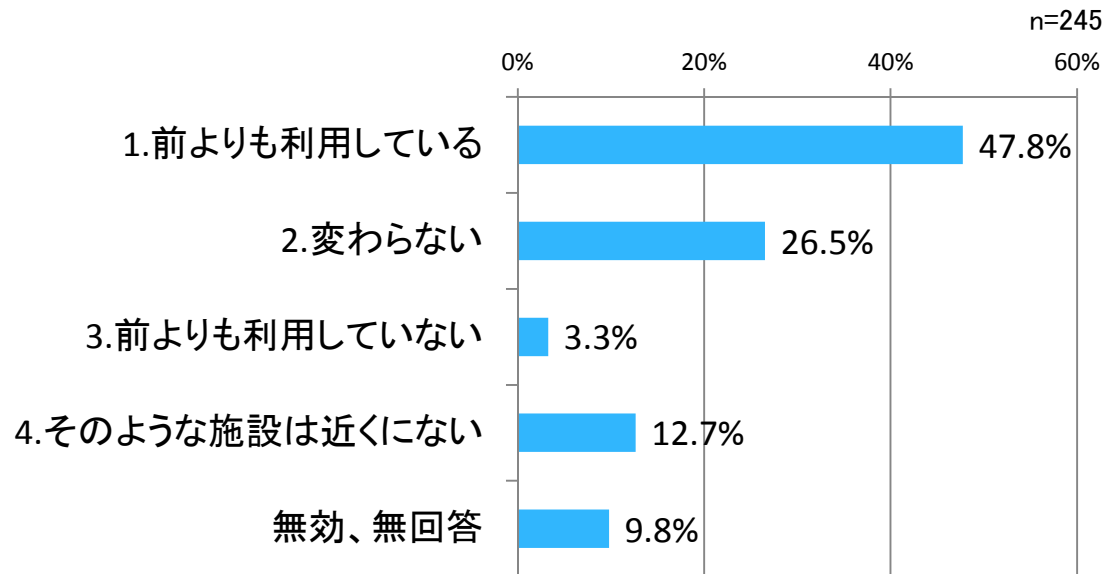
(支援員に会った後)

n=77



# (3)子どもの地域での支援サービス利用について

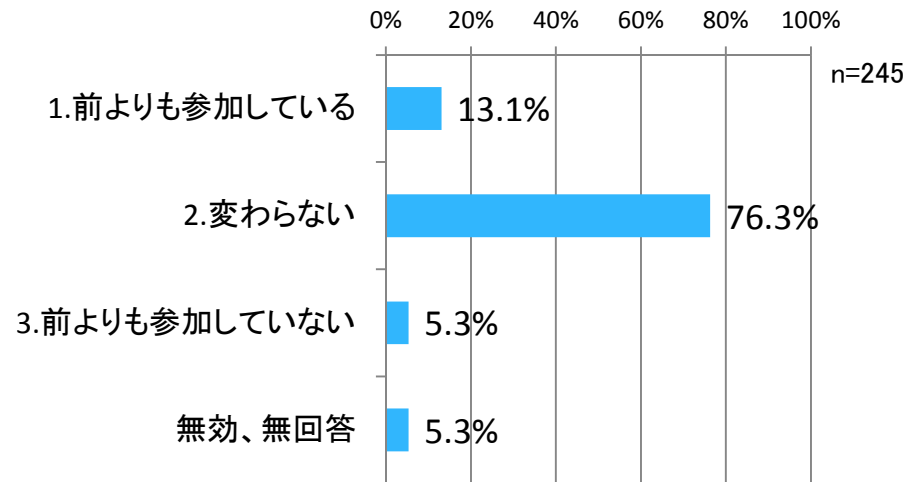
Q7 支援員と会う前と比べて、子どもは地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用しているか



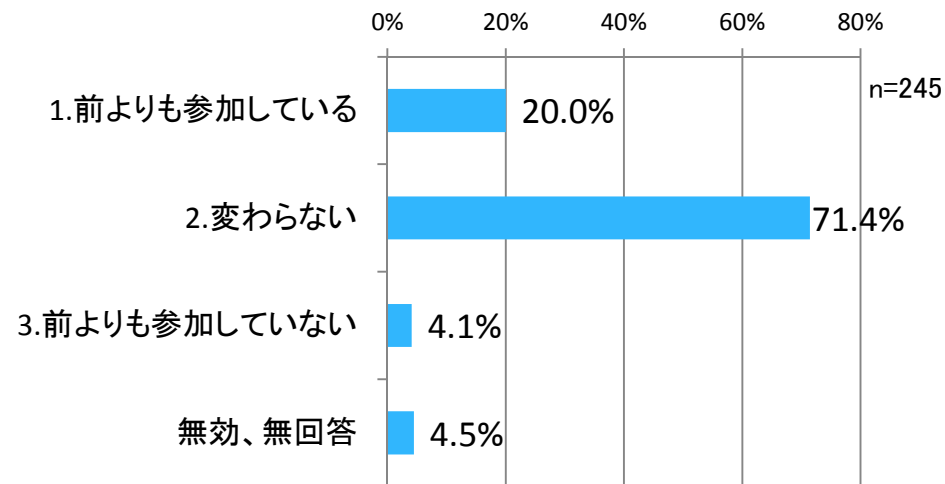
「そのような施設は近くにない」が12.7%となっており、支援員がいても、つなぐためのサービスが近くにないとの課題がある。

## (4)地域や友人・知人・社会との関係について

### Q8-ア 支援員に会う前と比べて、地域の行事に参加しているか



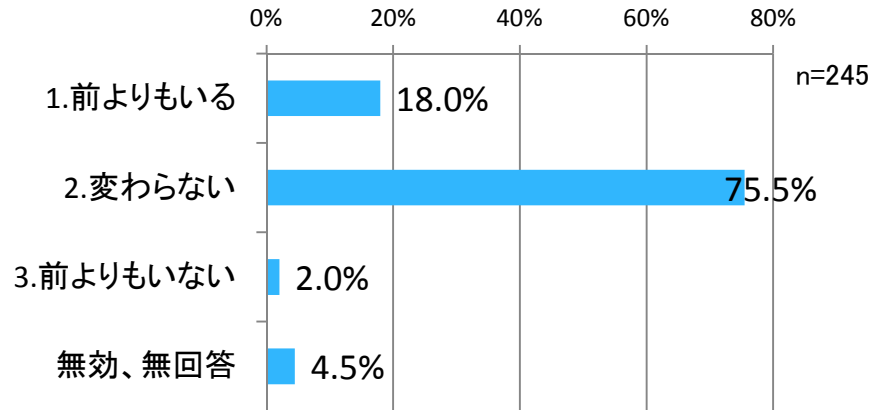
### Q8-イ 支援員に会う前と比べて、子どもが通う学校の行事に参加しているか



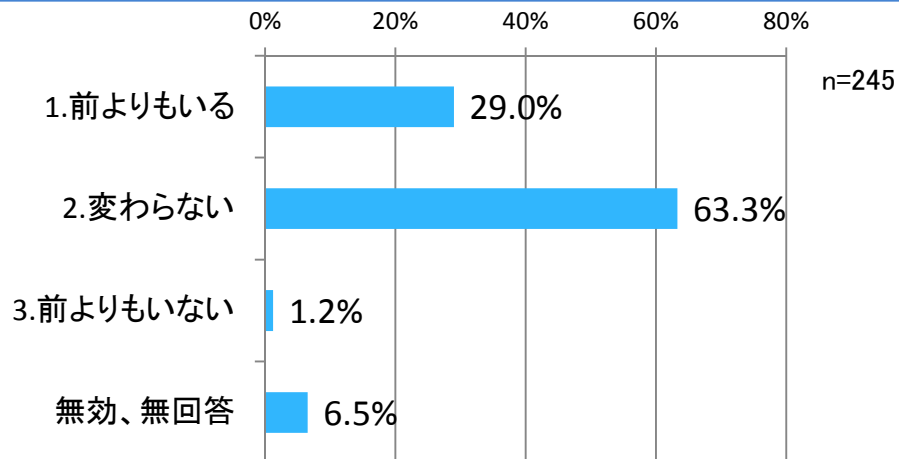


## (4)地域や友人・知人・社会との関係について(続き)

Q8-ウ 支援員に会う前と比べて、子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚はいるか

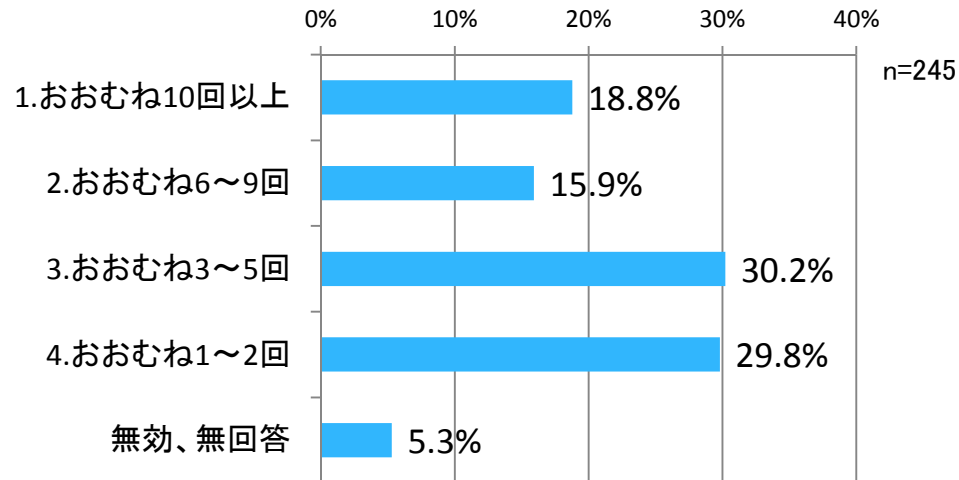


Q8-エ 支援員に会う前と比べて、子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいるか



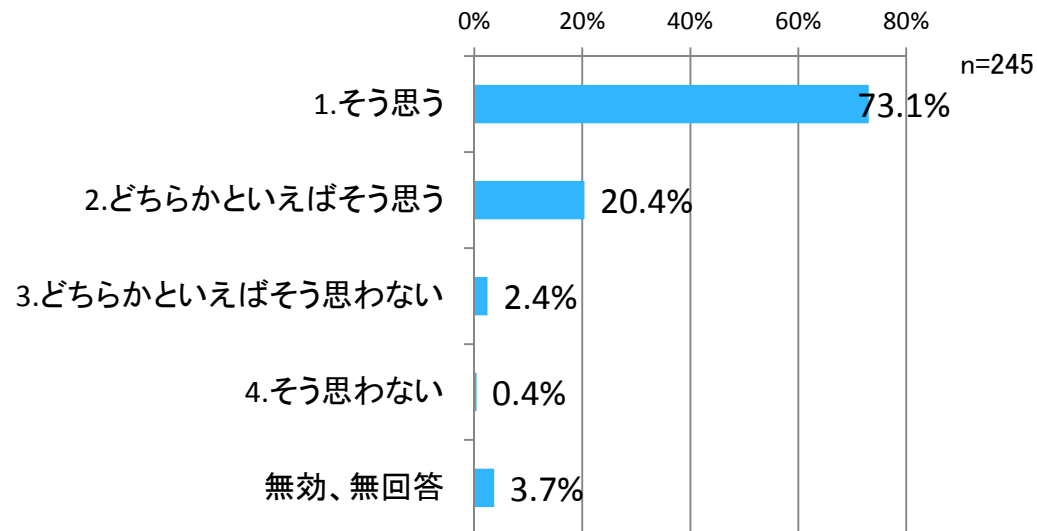
# (5) 支援員について

## Q9 支援員と会った回数



「おおむね1～2回」が29.8%となっており、支援員に会った回数が非常に少ない保護者が一定程度いることは課題。

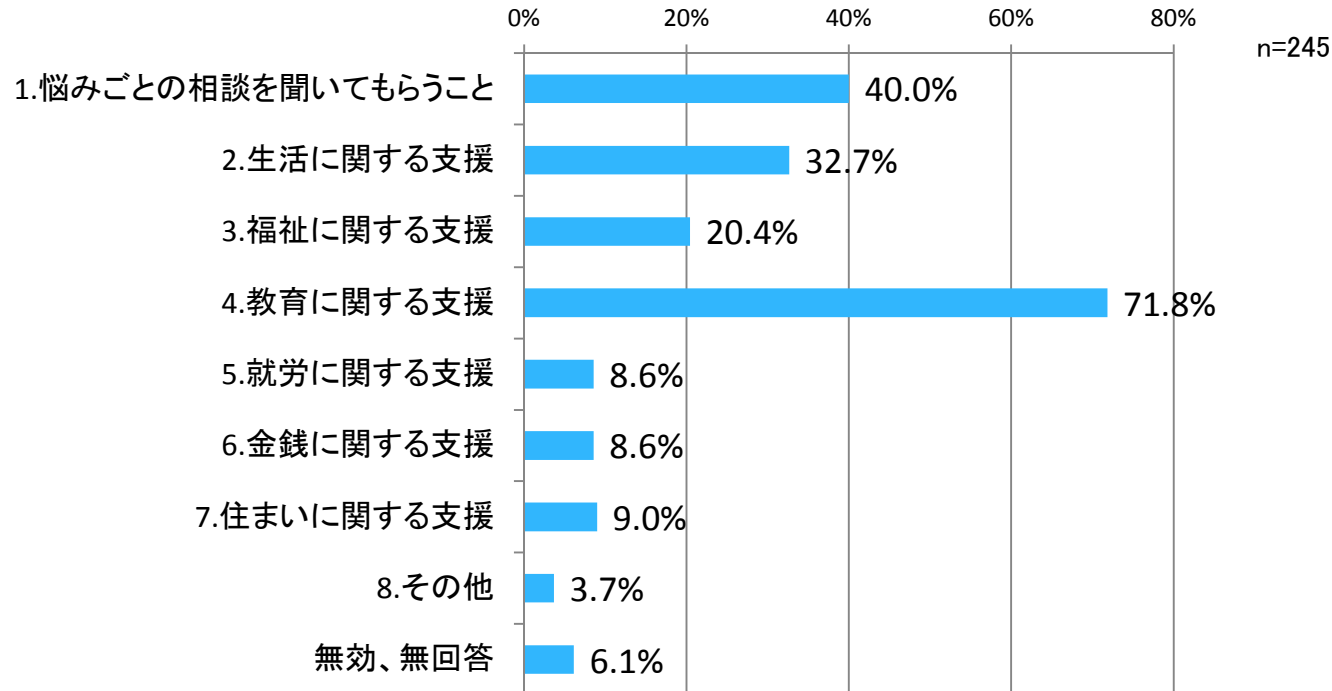
## Q10 支援員と会うようになって良かったか



「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は93.5%となっており、ほとんどの保護者が、支援員について好意的に評価をしている。

# (5)支援員について(続き)

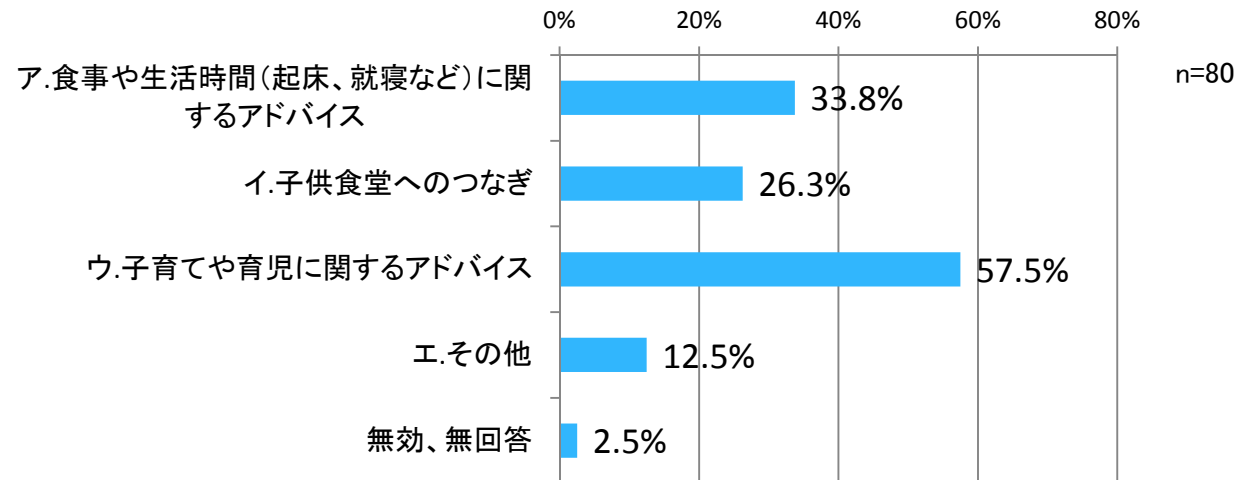
## Q11 どの分野のサポートが役に立ったか



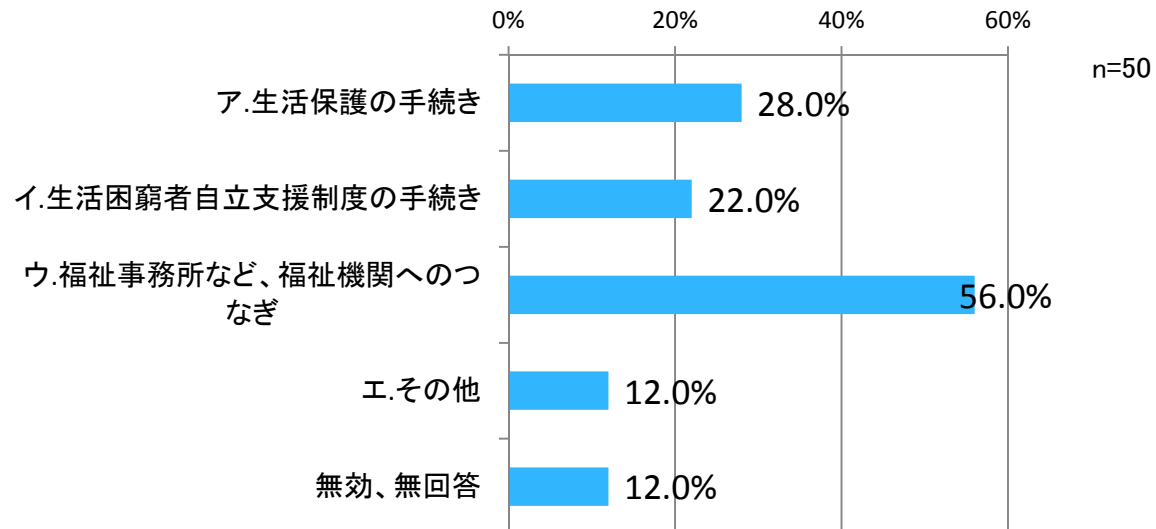
「教育に関する支援」が71.8%と最も多くなっており、支援員が、無料塾などへのつなぎの役割を果たしていることが窺える。

# (5)支援員について(続き)

## Q11-2 Q11で「2. 生活の支援」に○を付けた人の受けた支援

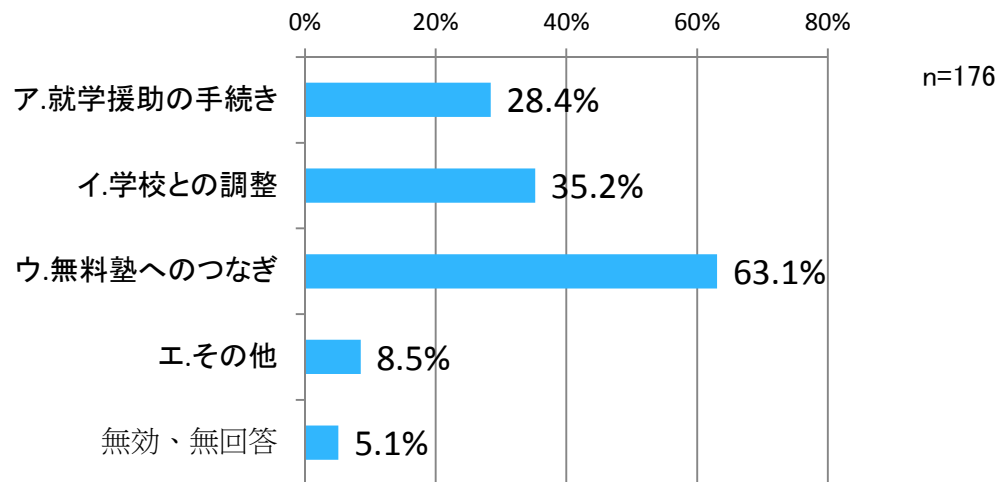


## Q11-3 Q11で「3. 福祉に関する支援」に○を付けた人の受けた支援

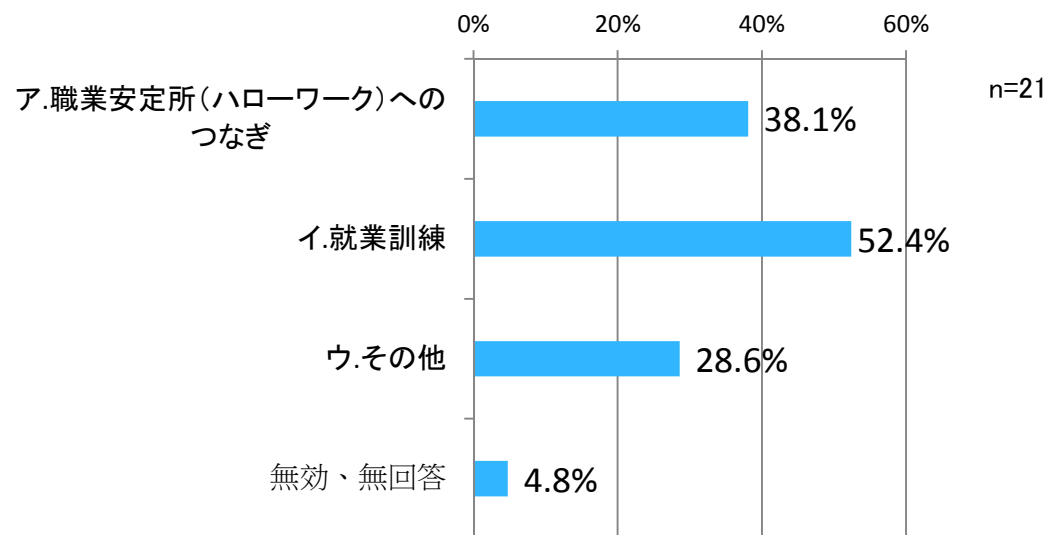


# (5)支援員について(続き)

Q11-4 Q11で「4. 教育に関する支援」に○を付けた人の受けた支援

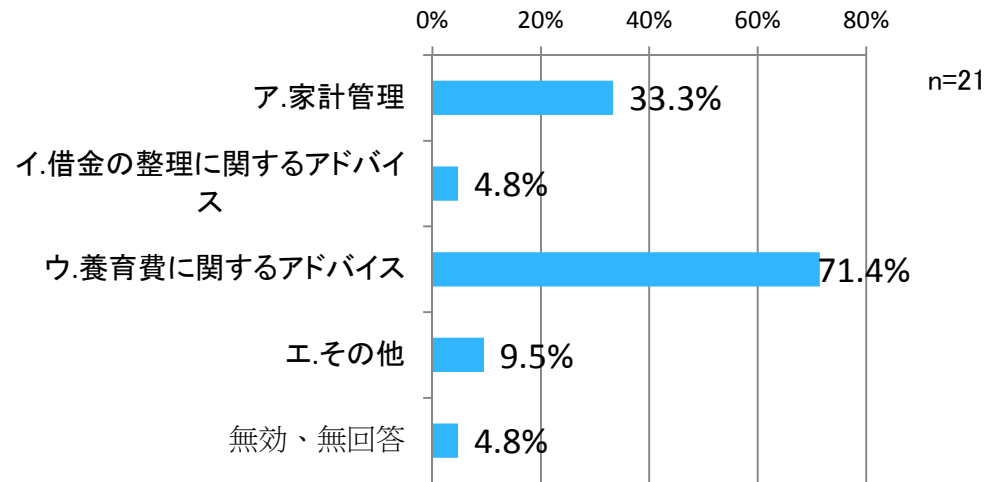


Q11-3 Q11で「5. 就労に関する支援」に○を付けた人の受けた支援

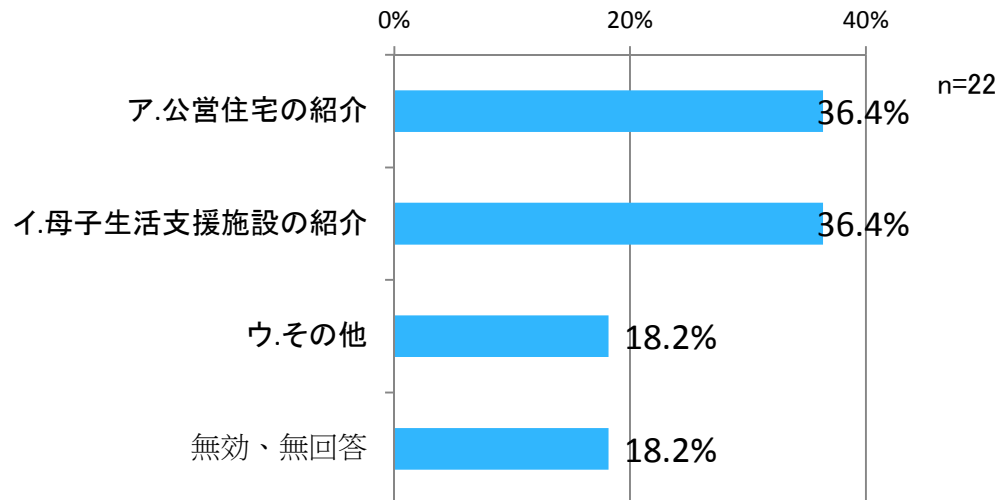


# (5)支援員について(続き)

Q11-6 Q11で「6. 金銭に関する支援」に○を付けた人の受けた支援

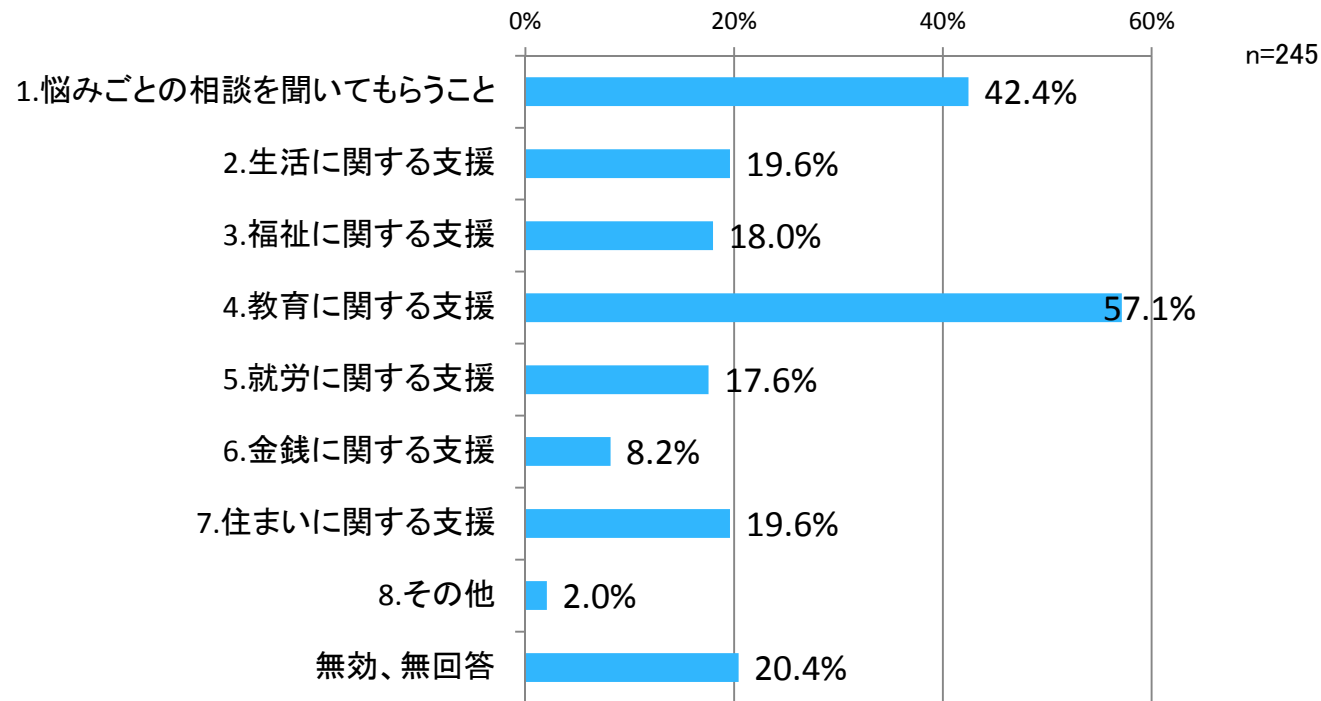


Q11-7 Q11で「7. 住まいに関する支援」に○を付けた人の受けた支援



## (5)支援員について(続き)

Q12 今後、支援員からどの分野のサポートを受けたいと思うか



Q11の「役に立った」サポートでは割合が低いですが、Q12で支援員からサポートを「受けたい」が多くなっている分野としては、「就労に関する支援」(役に立った8.6%⇒受けたい17.6%)、「住まいに関する支援」(役に立った9.0%⇒受けたい19.6%)となっている。

# 4 自由記述欄

※原文より抜粋

---



## 【居場所用】自由記述欄

### (好事例)

●この居場所が出来た事はすごくよかったです。家に帰っても誰も居ない、そう時に週に1回でもいって話をしたり、食事が出きる事は子供達にとって心が落ち着ける場所だと思います。大人達が子供達を育てる、そう事をこれからたくさんで着る場所があるゆめがあると思います。

●りょうりでやさいおきって、やくこともできるようになった。土ようびひとりでたべていたけど、〇〇(居場所名)のみんなとたべれるようになった。

●ここにくる前は家の人とぶつかることが多くて家にいずらいことがあったのですが、ここにくることで少し安心することができます

●〇〇(居場所名)でがんばったら、高校に進学できそうなのでよかったです。

### (課題)

●友達もできるし、とっても良いと思う。でも、人が急に増えて前よりも少しいずらくなった

●友だちも出来て、笑う回数が増えた。ここに通えてよかった。楽しい。高校にしんがくしたら、目標を失うから、またふとうこうにならないか不あん。

●友だちと学校以外でも楽しく遊んだりできるので、水、金曜日以外も増やしてほしい。

## 【支援員配布(子ども用)】自由記述欄

### (好事例)

● 支援員と会うようになって前向きに明るくのびのびとすごしています。相談しながら1日、1日たのしくすごして幸せです。

●○○【支援員】さんにあってから、おちつくようになって、メールでもそうだんにのってくれたり、学校まで一緒に行ってくれたりしてくれてかんしゃしてます！^^

● 今まで言えなかった事が支援員さんと出会ってから、何もかも親や支援員さんに言えるようになってから、不登校で、気持ちの不安が体にも出てたけど今は、登校も出来るし、体もじょじょに前と同じになった。

● 支援員と会って、家ぞくの事を色々話せるようになってストレスも、少しずつ減っています。

### (課題)

● 会ったことがありません。

● 相談にのってくれるのはいいけど、授業に出られないときが多いため、ほっといてほしいでもある。

## 【支援員配布(保護者用)】自由記述欄

### (好事例)

●親戚のないシングルマザーで、子供を育てる為の仕事量と家事量のバランスが取れず、正社員での仕事を辞め、時間の取れるパートに変えようかと悩んでいたとき、相談にのって頂いた。貧困から脱却する為に残業しながら頑張っても、夜10時～12時過ぎないと帰宅できず、夕食を作ることが出来ない。体が疲れ朝食も十分に与えられない。負のスパイラルに陥っている時に〇〇(居場所名)入所の相談にのってもらい、生活のリズムを私も子供も取り戻すことが出来た。本当に感謝している。

●サポートがなければ、今の私達親子は生きていなかったかもしれません。心療内科へも行くことができ、親子2人、日々葛藤はあり精神的にも波がありますが、常に温かく親身にサポートして下さい、ありがたいと思っています。生保も受けられ、まだ実際キツイ生活ですが助かってはいます。

●無料塾があることを知らずはじめて無料塾があることを知りよろこびました。おかげさまで学校でもせいせきがよくなり毎日の通学がたのしくなった様です。やる気や目標ができたことが今は大変うれしいです

●給食費の問題で、すごく悩んでいました。手続きをして、本当に助かりました。何度も足を運んでいただき、ありがとうございます。

### (課題)

●支援活動について「何しているかわからない」と聞いた事があります。もっと【住民】に知られるようにしてほしい 支援員がどのような立場なのか利用している自分もよくわからない